

科目名	REL210: キリスト教文化入門				担当教員	丹木 博一（輪講）
開講期	秋	開講時限	火金4限	研究室	4214	オフィスワー
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	月3限、金2限
キーワード	聖書、イエス・キリスト、信仰、愛、倫理、文化、芸術、宗教間対話					
授業の概要	複数講師による輪講形式で、キリスト教文化の諸相について講義する。イエス・キリストは何を語り何を行ったか、クリスチャンが信じているのはどんなことかを明らかにし、キリスト教の歴史を踏まえながら、全世界に多大な影響を及ぼすキリスト教文化を多面的に考察する。					
達成目標および到達目標	<p>【達成目標】 キリスト教とはどんな宗教であるかを正しく理解し、表現できる。また、キリスト教文化全般について幅広い関心を持ち、自ら考察を進めることができる。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キリスト教の信仰内容とキリスト教の歴史の概要を把握し、その内容を論述できる。 ・キリスト教文化の諸相を理解し、キリスト教の本質について問題提起ができる。 ・キリスト教文化に関し自らの選んだテーマについて研究成果をまとめ、分かりやすく発表することができる。 					
評価方法および評価基準	<p>【評価方法】 授業毎のリアクションペーパー（30%）、研究発表（20%）、期末課題（2,500字以上のレポート）（50%）</p> <p>【評価基準】 リアクションペーパー：講義内容について問題意識を持って論述展開できるかどうか。 研究発表：キリスト教に関する独自の自由研究の成果を分かりやすく発表できるかどうか。 期末課題：最低一冊は参考文献を読み、関心を寄せるテーマについて自分の言葉で問いを提起し、その問いに関するさまざまな考えを理解した上で、理由を挙げて自分の考えを自分の言葉で論じることができるかどうか。</p>					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	ガイダンス：講義内容と課題の説明 宗教とは何か	講義・リアクションペーパー	自分の宗教観を整理しておくこと。配布資料の復習
2	キリスト教の基本的特徴	講義・リアクションペーパー	教科書 pp.12-29 の予習 配布資料の復習
3	イエスの生涯	講義・DVD 視聴・リアクションペーパー	マルコ福音書を通読しておくこと。配布資料の復習
4	旧約聖書（1）モーセ五書と歴史書	講義・リアクションペーパー	教科書 pp.30-48 の予習 配布資料の復習
5	旧約聖書（2）知恵文学と預言書	講義・リアクションペーパー	教科書 pp.48-61 の予習 配布資料の復習
6	新約聖書（1）福音書	講義・リアクションペーパー	教科書 pp.62-86 の予習 配布資料の復習
7	新約聖書（2）書簡	講義・リアクションペーパー	教科書 pp.86-105 の予習 配布資料の復習
8	キリスト教の歴史 その1 古代から中世まで	講義・DVD 視聴・リアクションペーパー	教科書 pp.106-125 の予習 配布資料の復習
9	キリスト教の歴史 その2 宗教改革から現代まで	講義・リアクションペーパー	配布資料の復習
10	フランシスコ・ザビエルと上智大学	講義・DVD 視聴・リアクションペーパー	配布資料の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	ミサ典礼	講義・DVD視聴・リアクションペーパー	配布資料の復習
12	イエズス会の教育とイグナチオの霊性	講義・リアクションペーパー	配布資料の復習
13	修道院文化	講義・DVD視聴・リアクションペーパー	配布資料の復習
14	キリスト教音楽（1）	講義・音楽鑑賞・リアクションペーパー	配布資料の復習
15	暦・シンボル・伝説	講義・リアクションペーパー	配布資料の復習
16	キリスト教音楽（2）	講義・音楽鑑賞・リアクションペーパー	配布資料の復習
17	キリスト教倫理 その1 差別と戦争への問い	講義・DVD視聴・リアクションペーパー	教科書 pp.138-149 の予習 配布資料の復習
18	キリスト教倫理 その2 平和への願いと愛の教え	講義・DVD視聴・リアクションペーパー	配布資料の復習
19	キリスト教美術 その1 神を描くことをめぐる問題	講義・美術鑑賞・リアクションペーパー	配布資料の復習
20	キリスト教美術 その2 東方正教会とイコン	講義・美術鑑賞・リアクションペーパー	配布資料の復習
21	時代の必要に答えた人びと（1） アシジの聖フランシスコ	講義・DVD視聴・リアクションペーパー	配布資料の復習
22	時代の必要に答えた人びと（2） マザー・テレサ	講義・DVD視聴・リアクションペーパー	配布資料の復習
23	キリスト教と仏教 その1 自己の探求	講義・リアクションペーパー	配布資料の復習
24	キリスト教と仏教 その2 生きる意味への問い	講義・リアクションペーパー	配布資料の復習
25	キリスト教と哲学 その1 信仰と理性	講義・リアクションペーパー	配布資料の復習
26	キリスト教と哲学 その2 啓示と救い	講義・リアクションペーパー	配布資料の復習
27	研究発表（1） 学生	講義・リアクションペーパー	研究発表の準備
28	研究発表（2） 学生	講義・リアクションペーパー	研究発表の準備
29	研究発表（3） 学生	講義・リアクションペーパー	研究発表の準備
30	研究発表（4） 学生	講義・リアクションペーパー	研究発表の準備 期末課題提出

テキスト	土井かおる『よくわかるキリスト教』（PHP 研究所） その他に、各講師が資料を配布する。
参考書	各講師が毎回指示する。
その他 特記事項	授業には主体的な関心をもって参加して欲しい。なお講師の都合により、授業内容及び順序に変更が生じる可能性がある。

科目名	IDS210: 異文化間コミュニケーション					担当教員	C. Oliver
開講期	春	開講時限	月木3限	研究室	4205	オフィスアワー	火 12:30-14:15、 水 13:00-14:30
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	intercultural communication, linguistics, social psychology, anthropology, critical thinking						
授業の概要	This course provides an introduction to intercultural communication as an area of study. Readings and lectures will cover basic definitions, concepts, and issues related to intercultural communication. As regular homework, students will keep a record of their own intercultural communication experiences. We will also carry out one lengthy intercultural simulation in class. Lectures, readings, homework, and tests for this course will be in English.						
達成目標および到達目標	<p><i>Course goals:</i> Students will learn to understand “intercultural communication” (ICC) using concepts coming from linguistics, social psychology, and anthropology; to describe and analyze their own experiences of ICC; and to think critically about ICC as a problem in modern societies.</p> <p><i>Learning objectives:</i> By the end of the semester, students will be able to understand key concepts related to ICC drawn from linguistics, social psychology, and anthropology and how they apply to specific examples; factually describe their own recent experiences of ICC and relate those experiences to concepts discussed in class; and explain, in writing, ways in which specific situations of ICC found in the world today are related to broader social and historical contexts and issues.</p>						
評価方法および評価基準	<p><i>Categories:</i> Participation 20%, Homework 40%, In-class Tests 40%.</p> <p><i>Criteria:</i></p> <ul style="list-style-type: none"> • Participation: active participation in everyday class activities, including lectures and discussions, and responses in in-class writing activities that demonstrate engagement with class content; • Homework: submitted on time, thoroughly completed, provides factual description where required, demonstrates appropriate application of concepts covered in class; • In-class Tests: demonstrate ability to understand key concepts related to ICC and how they apply to specific examples, demonstrate ability to explain ways that specific situations of intercultural communication are related to broader social and historical contexts and issues. 						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	Course overview	Lecture	Read course syllabus thoroughly
2	Defining intercultural communication	Lecture, pair work	Read p. 34, review syllabus
3	“Culture” in intercultural communication	Lecture, pair work	Read pp. 9-10, 12-13; skim pp. 13-27
4	Features of human communication: basic concepts	Lecture, pair work	Read pp. 54-57, 68-71
5	Features of human communication: meaning and context	Lecture, pair work	Read pp. 54-57, 68-71
6	Communication and language: language and thought	Lecture, pair work	Read pp. 77-79, 83
7	Communication and language: aspects of meaning	Lecture, pair work	Submit: “ICC Experience” homework
8	Non-verbal communication: silence	Lecture, pair work	Read pp. 86-87, 91-93; skim other pages in Ch. 9
9	Non-verbal communication: functions	Lecture, pair work	Read pp. 86-87, 91-93; skim other pages in Ch. 9
10	Edward T. Hall: the first interculturalist	Lecture, pair work	Read pp. 49-50, 56, 96, 133; Submit: “ICC Exper.” HW

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	Stereotypes: basic concepts	Lecture, pair work	Read pp. 152-153
12	Stereotypes: aspects and effects	Lecture, pair work	Read pp. 152-153
13	Values: basic concepts	Lecture, pair work	Read pp. 16-19, 42-49
14	Values: kinds of values	Lecture, pair work	Submit: "ICC Experience" HW, "Values" HW
15	Culture shock: definition, symptoms, varieties	Lecture, pair work	Read pp. 158-165
16	Communication "events": basic concepts	Lecture, pair work	Submit: "culture shock" homework
17	Communication "events": dimensions of norms	Lecture, pair work	Review lecture notes
18	Intercultural training: basic elements	Lecture, pair work	Read pp. 186-187; Submit: "ICC Experience" homework
19	Intercultural training: intercultural simulations	Pair work, lecture	Read Ch. 16, especially pp. 186-187
20	Review; In-class Test #1	Lecture, written exam	Study for test
21	Intercultural simulation: do in class	Small-group discussion	Read handouts about simulation
22	Intercultural simulation: follow-up discussion	Small-group discussion, lecture	Submit: "ICC Experience" homework
23	Social and historical contexts of intercultural communication: Quebec	Lecture, pair work	Review class notes
24	Social and historical contexts of intercultural communication: U.S. South	Lecture, pair work	Review class notes
25	Social and historical contexts of intercultural communication: American Indians	Lecture, pair work	Review class notes
26	Power and inequality in intercultural communication	Lecture, pair work	Submit: "ICC Experience" homework
27	Practical implications for the study of intercultural communication	Lecture, pair work	Review class notes
28	Paths toward better knowledge and understanding of others; Review	Lecture, pair work	Review textbook pages covered, handouts, class notes
29	Review, In-class Test #2	Lecture, written exam	Study for test
30	Semester recap	Lecture, small-group discussion	Submit: "ICC Experience" homework

テキスト	Hidasi Judit. <i>Intercultural Communication: An Outline</i> (三元社)
参考書	石井 敏、久米 昭元、長谷川 典子、桜木 俊行 & 石黒 武人『はじめて学ぶ異文化コミュニケーション』（有斐閣）
その他 特記事項	Lectures, readings, homework, and tests for this course will be in English.

科目名	LIT201: 英文学概論				担当教員	飯田 純也	
開講期	春	開講時限	火金3限	研究室	4216	オフィスアワー	木2・3・4限
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	文学、イギリス文学、アメリカ文学、聖書、映画、物語、モラル、パラブル						
授業の概要	この概論では、文学作品を物語として捉え直し、文学研究の裾野を広げる。物語の意義は道徳的問いかけにあるが、この物語論をふまえ、英語文化圏の諸問題を研究する上で鍵となる近代文学の作品を取り上げ、作品の提起する問題を検討する。指定のDVD資料を観るなどの準備学習が求められる。授業中のグループ討論を通して、自分の意見をまとめ、小論文を書く。期末レポートは、自分で選んだ作品とテーマで書く。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標】 この概論の目標は、学生が物語論の視点から、文学研究の意義と方法を学び、文学研究を通じて英語文化圏の歴史や社会を理解し、逆に文化を超越する人間精神の普遍性を理解することである。同時に、毎回のパワーポイント資料（英語）等をふまえ、自らの意見を資料と照らし合わせながら、小論文にまとめる能力を身につけることである。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語文化圏を代表する作品を理解することができる ・作品理解を通して、英語文化圏の歴史と社会問題を理解することができる ・同時に、文化の差異を超越する人間性、精神性を理解することができる ・物語論を学び、他の人文科学及び社会科学の研究に応用することができる 						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法】 小論文は9回の内8回提出で計40%、2. 期末レポートは30%、3. 授業参加状況が30%。</p> <p>【評価基準】 別紙参照。詳細は初回授業時に説明する。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	授業紹介	講義、質疑応答、ペアワーク	課題DVDのリストを基に入手先を検討する
2	物語論：エンディングは問題提起（1） 『市民ケーン』	講義、質疑応答	課題DVDを視聴、筋と要点をノート
3	物語論：エンディングは問題提起（2） 『黒いオルフェ』	講義、質疑応答、グループ討論	課題DVDを視聴、筋と要点をノート
4	物語論：エンディングは問題提起（3） 『男と女』	講義、質疑応答、グループ討論	小論文 no. 1 の準備（提出は次回授業時）
5	文学はパラブル（1） 聖書と譬え話	講義、質疑応答	課題資料（英文）の下調べ、筋と要点をノート
6	文学はパラブル（2） アブサローム物語	講義、質疑応答、グループ討論	小論文 no. 2 の準備（提出は次回授業時）
7	パラブルと女性（1） <i>Romeo and Juliet</i>	講義、質疑応答	課題DVDを視聴、筋と要点をノート
8	パラブルと女性（2） <i>Tristan and Isolde</i>	講義、質疑応答、グループ討論	小論文 no. 3 の準備（提出は次回授業時）
9	作品研究 <i>Jane Eyre</i> （1） 分析の手がかり	講義、質疑応答	課題DVDを視聴、筋と要点をノート

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
10	作品研究 <i>Jane Eyre</i> (2) 討論	講義、質疑応答、グループ討論	小論文 no. 4 の準備 (提出は次回授業時)
11	作品研究 <i>A Passage to India</i> (1) 分析の手がかり	講義、質疑応答	課題 DVD を視聴、 筋と要点をノート
12	作品研究 <i>A Passage to India</i> (2) 討論	講義、質疑応答、グループ討論	小論文 no. 5 の準備 (提出は次回授業時)
13	作品研究 <i>Vanity Fair</i> (1) 分析の手がかり	講義、質疑応答	課題 DVD を視聴、 筋と要点をノート
14	作品研究 <i>Vanity Fair</i> (2) 討論	講義、質疑応答、グループ討論	小論文 no. 6 の準備 (提出は次回授業時)
15	作品研究 <i>Tess of the d'Urbervilles</i> (1) 分析の手がかり	講義、質疑応答	課題 DVD を視聴、 筋と要点をノート
16	作品研究 <i>Tess of the d'Urbervilles</i> (2) 討論	講義、質疑応答、グループ討論	小論文 no. 7 の準備 (提出は次回授業時)
17	作家研究 Charles Dickens: <i>David Copperfield</i>	講義、質疑応答	課題 DVD を視聴、 筋と要点をノート
18	作家研究 Charles Dickens: <i>Nickolas Nickleby</i>	講義、質疑応答、グループ討論	課題 DVD を視聴、 筋と要点をノート
19	作家研究 Charles Dickens: <i>Oliver Twist</i>	講義、質疑応答、グループ討論	小論文 no. 8 の準備 (提出は次回授業時)
20	作家研究 Jane Austen: <i>Sense and Sensibility</i>	講義、質疑応答	課題 DVD を視聴、 筋と要点をノート
21	作家研究 Jane Austen: <i>Pride and Prejudice</i>	講義、質疑応答、グループ討論	課題 DVD を視聴、 筋と要点をノート
22	作家研究 Jane Austen: <i>Mansfield Park</i>	講義、質疑応答、グループ討論	小論文 no. 9 の準備 (提出は次回授業時)
23	アメリカ社会研究 (1) <i>The Scarlet Letter</i> のピューリタン社会	講義、質疑応答	課題資料の下調べ、 筋と要点をノート
24	アメリカ社会研究 (2) <i>The Scarlet Letter</i> とインディアン戦争	講義、質疑応答、グループ討論	ノートの整理、グループ討論の準備
25	アメリカ社会研究 (3) <i>The Great Gatsby</i> と資本主義社会	講義、質疑応答	課題資料の下調べ、 筋と要点をノート
26	アメリカ社会研究 (4) 総論	講義、質疑応答、グループ討論	ノートの整理、グループ討論の準備
27	授業のふりかえり 講義と討論	グループワークで相互発表、相互評価	期末レポートの準備 作品、テーマの決定
28	期末レポート作成指導 講義と討論	グループワークで相互発表、相互評価	発表と期末レポートの準備
29	発表と期末レポート作成準備	ボランティア学生の発表、講評	発表の準備と期末レポートの提出
30	発表と期末レポート講評	ボランティア学生の発表、講評	発表の準備

テキスト	作品の抜粋等の資料を随時配布する
参考書	Ed. David Herman, <i>The Cambridge Companion to Narrative</i> (Cambridge: Cambridge University Press, 2007)

科目名	LIT201: 英文学概論				担当教員	平野 幸治	
開講期	秋	開講時限	火金3限	研究室	4210	オフィスアワー	水2・3限、木2・3・4限
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	bildungsroman (教養小説), parable & narrative (寓話と物語), social issues (社会問題)						
授業の概要	英文学の「ジャンル」を切り口に詩、劇、小説を取り上げ、特に物語の視点から寓話や語り口を、「個人と社会」を切り口に伝統、文化、風俗、歴史の持つ意味や影響を考察する。作品の plot summary (粗筋) を英語で読み日本語で要約し、指示された DVD を見てメモを取る。小グループでディスカッションや成果の発表を行う。教員の一方通行の講義ではない授業を展開する。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標】</p> <p>英語で書かれたプロット・サマリーを毎回配布するので、学生が、英文学作品の研究に必要な用語・概念を講義し、具体的な作品を通して英米文学の歴史を理解し、特徴を述べる事が出来るようになること、文学作品のテーマや社会問題、比喩を理解して討論し、自分の意見を人前で述べる事が出来るようになることをこの授業では目指す。</p> <p>【到達目標】</p> <p>学期末には学生は、plot summary の要約や DVD の視聴に基づいて英文学作品についてグループ・ディスカッションや 10 分程度の発表ができるようになる。他者の意見を聞くことによって自己の考えを相対化し、自分の意見を修正し、その成果に基づいて十分な具体例や作品からの引用を用いて論理的に指示されたテーマに基づいて 8,000 語程度の日本語の文章が書けるようになる。</p>						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法】</p> <p>毎回の授業の終了時に回収する Shuttle Card に授業に関する質問や意見をきちんとした日本語で述べる (1%×30回=30%)。授業内で行われるグループ・ディスカッションの専用フォームの提出 4 回 (5%×4回=20%)。授業外で行われる個人の課題提出 5 回 (5%×5回=25%) および最終課題 (8,000 字) の提出 (25%)。</p> <p>【評価基準】</p> <p>評価基準は授業の初回に詳しく説明します。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	イントロダクション: 英文学概論の目的と授業の進め方	講義、DVD の視聴用リストの配布	次回プリントの下調べと DVD 視聴メモ作成
2	【文学ジャンルと物語論】小説とは?	講義と作品理解のための視点の説明	次回プリントの下調べと DVD 視聴メモ作成
3	【文学ジャンルと物語論】詩とは? (1) ロマン主義までの詩	講義と作品理解のための視点の説明	次回プリントの下調べと DVD 視聴メモ作成
4	【文学ジャンルと物語論】詩とは? (2) War poets と現代詩	講義と作品理解のための視点の説明	次回プリントの下調べと DVD 視聴メモ作成
5	【文学ジャンルと物語論】物語: 一人称の語りと三人称の語り	講義と作品理解のための視点の説明	次回プリントの下調べと DVD 視聴メモ作成
6	【パラブル <i>Tristan and Isolde</i> 】寓話・譬え話の持つ意味とは (1)	講義と DVD の視聴、plot summary の読解	人的とプロットの展開図の作成・①課題の作成と提出
7	【パラブル <i>Tristan and Isolde</i> 】寓話・譬え話の持つ意味とは (2)	①グループ・ディスカッションと発表	次回プリントの下調べと DVD 視聴メモ作成
8	【パラブル <i>Romeo and Juliet</i> 】神話と文学 (3)	講評と視点の説明、plot summary の読解	人的展開図とプロットの展開図の作成
9	【パラブル <i>Romeo and Juliet</i> / <i>Tristan and Isolde</i> 】神話と文学 (4)	②グループ・ディスカッションと発表	DVD 視聴メモの作成と次回プリントの下調べ
10	【作品研究 <i>Jane Eyre</i> 】 (1) ヴィクトリア朝と bildungsroman (教養小説)	講評と視点の説明、plot summary の読解	人的とプロットの展開図の作成・②課題の作成と提出

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	【作品研究 <i>Jane Eyre</i> 】(2) 女性の自立と監禁 (imprisonment)	講義と作品理解のための視点の説明	DVD 視聴メモの作成と次回プリントの下調べ
12	【作品研究 <i>Vanity Fair</i> 】(1) ヴィクトリア朝と bildungsroman(教養小説)	講義と DVD の視聴、plot summary の読解	人的相関図とプロットの展開図の作成
13	【作品研究 <i>Vanity Fair</i> 】(2) governess (女家庭教師) と階級制度	講義と DVD の視聴、プロットの説明	次回プリントの下調べ及び③個人の課題の作成と提出
14	【作品研究 <i>Sense & Sensibility</i> 】(1) ヴィクトリア朝と bildungsroman(教養小説)	講義と DVD の視聴、plot summary の読解	人的相関図とプロットの展開図の作成
15	【作品研究 <i>Sense & Sensibility</i> 】(2) 結婚と階級制度	講義と作品理解のための視点の説明	DVD 視聴メモの作成と次回プリントの下調べ
16	【作品研究 <i>David Copperfield</i> 】(1) ヴィクトリア朝と bildungsroman(教養小説)	講義と DVD の視聴、plot summary の読解	人的相関図とプロットの展開図の作成
17	【作品研究 <i>David Copperfield</i> 】(2) 個人と社会	講義と作品理解のための視点の説明	DVD 視聴メモの作成と次回プリントの下調べ
18	【作品研究 <i>Oliver Twist</i> 】(1) ヴィクトリア朝と bildungsroman(教養小説)	講義と DVD の視聴、plot summary の読解	ディスカッションのための資料整理
19	【作品研究 <i>Oliver Twist</i> 】(2) 児童労働と階級制度	講義と作品理解のための視点の説明	DVD 視聴メモの作成と次回プリントの下調べ
20	【作品研究 <i>Wuthering Heights</i> 】(1) ヴィクトリア朝と bildungsroman(教養小説)	講義と DVD の視聴、plot summary の読解	DVD 視聴メモの作成と次回プリントの下調べ
21	【作品研究 <i>Wuthering Heights</i> 】(2) 個人と社会	③グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための資料整理
22	【作品研究 <i>A Passage to India</i> 】(1) 20 世紀の文学	講義と DVD の視聴、plot summary の読解	メモの作成とプリントの下調べ・④課題の作成と提出
23	【作品研究 <i>A Passage to India</i> 】(2) 宗主国と植民地	講義と作品の引用の指摘	人的相関図とプロットの展開図の作成
24	【作品研究 <i>A Passage to India</i> 】(3) 異文化理解と文化的衝突	④グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための資料整理
25	【作品研究 <i>Great Gatsby</i> 】(1) 20 世紀のアメリカ文学	講義と DVD の視聴、plot summary の読解	人的相関図とプロットの展開図の作成
26	【作品研究 <i>Great Gatsby</i> 】(2) アメリカの夢と現実	講義と作品の引用の指摘	プリントの下調べ・⑤課題の作成と提出
27	【作品研究 <i>The Age of Innocence</i> 】 旧世界と新世界のモラルや風俗の対比	講義と DVD の視聴、plot summary の読解	DVD 視聴メモの作成と次回プリントの下調べ
28	【作品研究 <i>The Remains of the Day</i> 】(1) 20 世紀と 21 世紀の文学	講義と DVD の視聴、plot summary の読解	人的相関図とプロットの展開図の作成
29	【作品研究 <i>The Remains of the Day</i> 】(2) 個人と社会	⑤グループ・ディスカッションと発表	資料整理及び最終課題の作成と提出
30	21 世紀の英文学の行方と文学研究の意義	講義と課題の講評	ノートおよびグループ・ディスカッションの整理

テキスト	上記であげた作品自体のプリントおよび上記であげた作品の plot summary や批評のプリントを配布する。
参考書	David Lodge. <i>The Art of Fiction</i> (Penguin Books) 都甲幸治『21 世紀の世界文学 30 冊を読む』(新潮社) 阿部公彦『小説的思考のススメ』(東京大学出版会)
その他 特記事項	授業初回時に配布する DVD のリストに従い、準備学習・復習として指示された DVD を図書館等でメモを取りながら各自で見ること。

科目名	LNG200: 言語学概論				担当教員	神谷 雅仁	
開講期	春	開講時限	月木3限	研究室	4215	オフィスアワー	火3限、水2限
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	言語とは、英語史、音素、語形成、生成文法、文／発話の意味、言語のバリエーション						
授業の概要	本講を通じて学生は普段何気なく使っている「ことば」を客観的に観察・分析することで、その本質を考察する。具体的には言語学の中心的なテーマである「言語構造」に関する内容と、言語とその他の分野との接点を、指定テキストと担当者の準備した資料（様々な練習問題を含む）をもとに講義形式で学んでいく。また理解促進のため毎授業時に既習内容に関するレビューを行う。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標】 本講を通じて学生は、対象言語となっている英語の音声・音韻の体系、語形成、文構造、文や発話の意味といった基本的な言語構造、および歴史やことばのバリエーション、言語と文化の接点や言語習得といった関連分野に関する基本的概念・理論に触れ、その理解を深めることを目標とする。</p> <p>【到達目標】 学生は言語学という学問分野の中で音、語、句・文、談話、そして意味のそれぞれがどのような体系／構造を有しているのかを理解し、それを自らの言語生活（母語と外国語）に照らし合わせ、考察することができるようになる。同様にその他の関連テーマについても内容の理解だけにとどまらず、そこから自らがどのように日々言語を使用し、また学んでいるのかについて様々な発見や気づきを得ることができる。</p>						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 理解度テスト1 (35%)、理解度テスト2 (35%)、Book Report (20%)、授業参加度／提出物 (10%) <p>【評価基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> 理解度テスト1：学期前半部分の内容についての理解と定着度を確認する。 理解度テスト2：学期後半部分の内容についての理解と定着度を確認する。 Book Report：Booklistにある指定図書の中から一冊を読み、内容の要約（章や節ごとに内容をまとめる）と自分の見解（何を学べたか、どのような発見があったか、どんな課題が見つかったかなど）を含めたブックレポートを作成する。 授業参加度／提出物：授業内での発言・質問（レビュー時）や提出物の出来 						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	Course overview 本講を概観する	講義、ディスカッション	テキスト全体に目を通す
2	What is Language? 人間にとって言語とは何か？	講義、ビデオ視聴、ディスカッション	テキスト (ch. 1-2)、レジユメの予習・復習
3	What is Language? 言語の定義	講義、ビデオ視聴、ディスカッション	Reaction paper 作成、レジユメの予習・復習
4	What is Language? 言語の特性	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 1-2)、レジユメの予習・復習
5	What is Linguistics? 言語学という分野	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 1-2)、レジユメの予習・復習
6	History of English 英語の歴史（古英語）	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 3-5)、レジユメの予習・復習
7	History of English 英語の歴史（中英語）	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 3-5)、レジユメの予習・復習
8	History of English 英語の歴史（近代英語）	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 3-5)、レジユメの予習・復習
9	Phonetics 音声学	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 8-9)、レジユメの予習・復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
10	Phonetics & Phonology 音声学&音韻論	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 8-9)、レジュメの予習・復習
11	Phonology 音韻論	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 8-9)、レジュメの予習・復習
12	Morphology 形態論 形態素とは？	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 10)、レジュメの予習・復習
13	Morphology 形態論 語形成	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 10)、レジュメの予習・復習
14	Syntax 1 統語論 1 伝統文法、アメリカ構造主義言語学	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 11-12)、レジュメの予習・復習
15	Syntax 1 統語論 アメリカ構造主義言語学 Review of the first half 前半のまとめ	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 11-12)、レジュメの予習・復習
16	Review of the first half 前半のまとめ 理解度テスト 1	講義、質疑応答 テスト	テスト準備
17	Syntax 2 統語論 2 生成変形文法：文法観	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 11-12)、レジュメの予習・復習
18	Syntax 2 統語論 2 生成変形文法：句構造規則	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 11-12)、レジュメの予習・復習
19	Semantics 意味論 語の意味	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 13-16)、レジュメの予習・復習
20	Semantics 意味論 句・文の意味	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 13-16)、レジュメの予習・復習
21	Pragmatics 語用論 語用論とは：基本概念	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 17-20)、レジュメの予習・復習
22	Pragmatics 語用論 発話行為、会話の含意	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 21-22)、レジュメの予習・復習
23	Communication and culture 文化と文脈	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 21-22)、レジュメの予習・復習
24	Communication and culture 文化とコミュニケーション	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 21-22)、レジュメの予習・復習
25	Sociolinguistics 社会言語学 言語のバリエーション	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 6 & 23-24)、レジュメの予習・復習
26	Sociolinguistics 社会言語学 言語政策	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 6 & 23-24)、レジュメの予習・復習
27	Second Language Acquisition 第二言語習得 外国語教授法	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 25)、レジュメの予習・復習
28	Second Language Acquisition 第二言語習得 様々な第二言語習得理論	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 25)、レジュメの予習・復習
29	Review of the second half 後半のまとめ 理解度テスト 2	講義、質疑応答 テスト	テスト準備
30	Review of the test 理解度テスト 2 の見直し Course review 全体のまとめ	講義、質疑応答	テスト問題の見直し

テキスト	長谷川瑞穂（編著）『はじめての英語学』（研究社）
その他 特記事項	この科目は言語研究コースを修了するための必修科目である。また、言語系のゼミ受講への基礎知識を与えるものである。

科目名	LNG200: 言語学概論				担当教員	柳田 恵美子
開講期	秋	開講時限	火金2限	研究室	4号館2階講師控室	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先
キーワード	英語史、音声学、音韻論、形態論、統語論、意味論、語用論、社会言語学、応用言語学					
授業の概要	本講を通じて学生は普段何気なく使っている「ことば」を客観的に観察・分析することで、その本質を考察する。具体的には言語学の中心的なテーマである「言語構造」に関する内容と、言語とその他の分野との接点を、指定テキストと担当者の準備した資料（様々な練習問題を含む）をもとに講義形式で学んでいく。また理解促進のため毎授業時に既習内容に関するレビューを行う。					
達成目標および到達目標	<p>【達成目標】 本講を通じて学生は英語を対象言語にし、音声、語形成、文構造、文や発話の意味といった基本的な言語の構造、および英語の歴史やことばのバリエーション、言語と文化の接点や言語習得といった関連分野に関する基本的概念・理論に触れ、その理解を深めることを目標とする。</p> <p>【到達目標】 学生は言語学という学問分野の中で音、語、句・文、談話、そして意味のそれぞれがどのような体系／構造を有しているのかを理解し、それを自らの言語生活（母語と外国語）に照らし合わせ、考察することができるようになる。同様にその他の関連テーマについても、内容の理解だけにとどまらず、そこから自らがどのように日々、言語を使用し、また学んでいるのかについて様々な発見や気づきを得ることができる。</p>					
評価方法および評価基準	<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理解度テスト1（35%）、・理解度テスト2（35%）、・Book Report（20%）、・授業参加度／提出物（10%） <p>【評価基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理解度テスト1：学期前半部分の内容についての理解と定着度を確認する。 ・理解度テスト2：学期後半部分の内容についての理解と定着度を確認する。 ・Book Report：Booklistにある指定図書の中から一冊を読み、内容の要約と自分の見解（例：どのような発見があったか）を含めたブックレポートを作成する。 ・授業参加度／提出物：授業内での発言・質問（レビュー時）や提出物の成果 					

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	本講を概観する	講義・ディスカッション	テキスト第2章 プリント
2	言語とは	講義・ディスカッション	テキスト第1-2章 プリント
3	英語の歴史—英語の始まりと発展	講義・ディスカッション	テキスト第3-7章 プリント
4	英語の歴史—英語の広がり	講義・ディスカッション	テキスト第3-7章 プリント
5	音声学・音韻論 [子音]	講義・ディスカッション	テキスト第8-9章 プリント
6	音声学・音韻論 [母音]	講義・ディスカッション	テキスト第8-9章 プリント
7	音声学・音韻論 [音素]	講義・ディスカッション	テキスト第8-9章 プリント
8	音声学・音韻論 [音韻的特徴]	講義・ディスカッション	テキスト第8-9章 プリント
9	形態論 [語構造]	講義・ディスカッション	テキスト第10章 プリント

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
10	形態論 [語構造・語形成]	講義・ディスカッション	テキスト第 10 章 プリント
11	形態論 [語形成]	講義・ディスカッション	テキスト第 10 章 プリント
12	統語論 [統語論とは何か]	講義・ディスカッション	テキスト第 11-12 章 プリント
13	統語論 [句構造]	講義・ディスカッション	テキスト第 11-12 章 プリント
14	前半のまとめ	講義・ディスカッション	第 1 回目から 13 回目までの 内容を復習する
15	前半のまとめ 理解度テスト 1	講義・試験	テストの準備
16	統語論 [句構造・文構造]	講義・ディスカッション	テキスト第 11-12 章 プリント
17	統語論 [文構造]	講義・ディスカッション	テキスト第 11-12 章 プリント
18	意味論 [語の意味]	講義・ディスカッション	テキスト第 13-16 章 プリント
19	意味論 [文の意味]	講義・ディスカッション	テキスト第 13-16 章 プリント
20	語用論 [談話の構造]	講義・ディスカッション	テキスト第 17-20 章 プリント
21	語用論 [談話の構造・意味]	講義・ディスカッション	テキスト第 17-20 章 プリント
22	語用論 [談話の意味]	講義・ディスカッション	テキスト第 17-20 章 プリント
23	ことばと文化・コミュニケーション論	講義・ディスカッション	テキスト第 21-22 章 プリント
24	社会言語学 [言語と地域]	講義・ディスカッション	テキスト第 23-24 章 プリント
25	社会言語学 [言語と社会]	講義・ディスカッション	テキスト第 23-24 章 プリント
26	応用言語学 [コミュニケーション能力]	講義・ディスカッション	テキスト第 25 章 プリント
27	応用言語学 [言語習得]	講義・ディスカッション	テキスト第 25 章 プリント
28	応用言語学 [言語教育]	講義・ディスカッション	テキスト第 25 章 プリント
29	後半のまとめ 理解度テスト 2	講義・試験	テストの準備
30	理解度テスト 2 の見直し 総復習	講義・質疑応答	テストの見直し 全体の復習

テキスト	長谷川瑞穂（編著）『はじめての英語学』（研究社）
履修条件、 前提科目	この科目は言語研究コースを修了するための必修科目である。また、言語系のゼミ受講への基礎知識を与えるものである。

科目名	EDU205: 児童英語教育概説				担当教員	尾関 はゆみ	
開講期	春	開講時限	月木5限	研究室	4号館2階講師控室		
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	児童英語教育、外国語習得、第二言語習得、コミュニケーション、実践						
授業の概要	児童英語教育に関心のある者に向けて、児童英語とは何か、その特性と代表的な教授内容を概観する。児童英語に関連して児童心理学、言語習得論、教育学、英語教授法など多岐にわたる専門分野の内容を扱う。学生は講義とグループワーク活動、指導実践、発表を通して児童英語教育についての基礎的な知識を学び、実践活動の疑似的体験を得る。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標】児童英語教育の基本的知識を学び、児童英語の英語教育における位置づけ、外国語習得および第二言語習得理論との関連から、児童期にはどのような教授法がふさわしいかを知る。児童英語の指導者としての疑似的な指導を体験し、そのために練習を積むことで、児童への効果的な指導が行える基礎力を身につける。</p> <p>【到達目標】児童英語の教授法の基礎知識を学び、それを応用したアクティビティを実践する体験を通して、指導の際の基本的な観点や基礎的な指導力を身につける。さらに学生相互の実践演習を通じて、効果的な実践発表の行い方を体験的に学び、レッスンプランとして組み立て、指導の準備や練習の過程で児童英語教育に必要な表現、語彙、効果的な発音方法を体得する。</p>						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法】①授業時に課すリアクションペーパー（10%）、②グループによる小課題・実践発表（30%）、③モデルレッスンプラン発表（30%）、④期末課題（30%）。</p> <p>【評価基準】①リアクションペーパーは、授業の内容を踏まえ、自分の学びを客観視して言語化できること。②小課題・実践発表では、課題のポイントに対して的確に答えられていること。実践発表の事前準備、練習が十分になされていること。グループで協力して取り組んでいること。③モデルレッスンプランは、児童の特性を踏まえた内容で、ねらい・時間配分・レベルが適切で実現可能な内容であること。発表者である学生は、そのモデル授業の重要なポイントを理解し、適格に説明できること。モデルレッスン実施時に指導者として求められる要素：大きな声で分かりやすく、段取りに配慮して進められること。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	児童英語教育が目指すもの	講義、グループワーク、コメントシート	テキスト 4-8 頁 ポイントを理解する
2	従来の英語教育を概観する	講義、グループワーク、コメントシート	テキスト 11-13 頁 ポイントを理解する
3	外国語習得における年齢別特徴と教授法	講義、グループワーク、コメントシート	テキスト 14-17 頁 模擬実践の準備と練習
4	児童英語教育の基本知識	講義、グループワーク、模擬実践	テキスト 18-27 頁 ポイントを理解する
5	英語教育、第二言語習得研究におけるコミュニケーション能力	講義、グループワーク、コメントシート	テキスト 30-35 頁 ポイントを理解する
6	国際コミュニケーション能力を育てる	講義、グループワーク、コメントシート	テキスト 37-43 頁 模擬実践の準備と練習
7	理論と実践：communication activities	指導実践、学生発表、コメントシート	テキスト 44-57 頁 模擬実践の準備と練習
8	理論と実践：information gap tasks	指導実践、学生発表、コメントシート	テキスト 58-66 頁 模擬実践の準備と練習
9	理論と実践：nursery rhymes	指導実践、学生発表、コメントシート	テキスト 68-84 頁 模擬実践の準備と練習
10	理論と実践：picture books	指導実践、学生発表、コメントシート	テキスト 85-97 頁 模擬実践の準備と練習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	理論と実践：songs	指導実践、学生発表、コメントシート	テキスト 98-107 頁 模擬実践の準備と練習
12	理論と実践：chants	指導実践、学生発表、コメントシート	テキスト 108-115 頁 模擬実践の準備と練習
13	理論と実践：TPR	指導実践、学生発表、コメントシート	テキスト 116-127 頁 模擬実践の準備と練習
14	理論と実践：phonics	指導実践、学生発表、コメントシート	テキスト 128-137 頁 模擬実践の準備と練習
15	理論と実践：creative writing	指導実践、学生発表、コメントシート	テキスト 139-144 頁 模擬実践の準備と練習
16	理論と実践：active reading	指導実践、グループワーク、コメントシート	テキスト 145-170 頁 模擬実践の準備と練習
17	理論と実践：シラバスとカリキュラム	指導実践、グループワーク、コメントシート	テキスト 171-179 頁 模擬実践の準備と練習
18	理論と実践：児童英語教育における文法・句型事項	講義、グループワーク、模擬実践	テキスト 180-187 頁 模擬実践の準備と練習
19	理論と実践：評価	講義、グループワーク、模擬実践	テキスト 188-194 頁 模擬実践の準備と練習
20	振り返り・発表準備	講義、グループワーク、コメントシート	テキスト復習及び発表準備と練習
21	発表：モデルレッシンプラン (1)・相互評価・講評	学生発表、相互評価、講評	発表の準備と練習
22	発表：モデルレッシンプラン (2)・相互評価・講評	学生発表、相互評価、講評	発表の準備と練習
23	発表：モデルレッシンプラン (3)・相互評価・講評	学生発表、相互評価、講評	発表の準備と練習
24	発表：モデルレッシンプラン (4)・相互評価・講評	学生発表、相互評価、講評	発表の準備と練習
25	発表：モデルレッシンプラン (5)・相互評価・講評	学生発表、相互評価、講評	発表の準備と練習
26	発表：モデルレッシンプラン (6)・相互評価・講評	学生発表、相互評価、講評	発表の準備と練習
27	発表：モデルレッシンプラン (7)・相互評価・講評	学生発表、相互評価、講評	発表の準備と練習
28	発表：モデルレッシンプラン (8)・相互評価・講評	学生発表、相互評価、講評	発表の準備と練習
29	相互評価まとめ [フィードバックセッション]	相互評価、講評、コメントシート	相互フィードバックの準備
30	総評・振り返り	講義、講評、グループワーク	テキスト全体の復習

テキスト	中本幹子『実践からの児童英語教育法・解説編』（アブリコット社）
参考書	白井恭弘『外国語学習に成功する人、しない人』（岩波書店） 本名信行『国際言語としての英語：文化を超えた伝え合い』（富山房インターナショナル）
その他 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> この科目を履修し修了することで、児童英語教育演習 A・B の履修が可能となる。 この授業を取る者は、積極的にサービスマーケティング活動に参加し、理論と実践の両方から学ぶことができる本学ならではのメリットを最大限に活用することを推奨する。

科目名	JPN210: 日本語教育概論				担当教員	宮崎 幸江	
開講期	秋	開講時限	木1・2限	研究室	4217	オフィスアワー	月・火3限
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	外国語としての日本語教授法、年少者日本語教育、バイリンガルの言語発達						
授業の概要	日本語が母語ではない人々にどうやって日本語を教えるかを学ぶ。まず、言語教育の方法について基礎となる事柄を学んだあと、具体的に初級の成人学習者にどうやって日本語を教えるかを学ぶ。「げんき」という初級教科書を使用してレッスンプランを作成し模擬授業を複数回行う。また、北米の大学で日本語を学ぶ学生とメール交換を行う。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標】</p> <p>本科目の目標は、多様化する日本語学習者（例：留学生や研修生、定住外国人とその家族）のニーズや第2言語の発達の違いを専門的に理解し、学習者に合った教授法とは何かを理解し実践する力を身につけることである。</p> <p>【到達目標】</p> <p>学期末には、初級レベルの日本語の授業計画が一人で立てられるようになる。そして、作成した教案に従って効果的な教室活動の実践ができるようになる。教室活動に必要な教材や教具についても具体的に示され適切な使用ができるようになる。さらに、学習者の日本語のレベルに合わせた言葉の使用ができるようになる。</p>						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法】</p> <p>授業への積極参加 10%、小テスト 30%、模擬授業 30%、期末レポート 30%</p> <p>詳細は学期初めに説明する。</p> <p>【評価基準】</p> <p>授業への積極参加：授業での発言やグループワークへの貢献を評価する。</p> <p>小テスト：既に学習した授業の内容が理解できているか。</p> <p>模擬授業：授業計画、教案作成、実践のスムーズさを総合的に評価する。</p> <p>期末レポート：導入する文法やアクティビティの性格をよく理解し授業計画がたてられているか、実践可能な教案を作成できるか、使用する言語は学習者のレベルに相応しいものかを評価する。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	日本語教育とは －JSLとJFL	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書の該当箇所（1～2頁）を読む、小テスト準備
2	日本語学習者の多様化	小テスト、解説 講義	教科書の該当箇所を読む（1～2頁）
3	コースデザイン ニーズアナリシス	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書の該当箇所を読む（4～5頁）
4	シラバスデザイン －シラバスの種類	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書の該当箇所を読む（6～8頁）小テスト準備
5	言語技能 4技能とは何か	小テスト、解説 講義小テスト	教科書の該当箇所を読む（9～15頁）
6	言語技能の扱い方 －統合的アプローチ	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書の該当箇所を読む（16～18頁）小テスト準備
7	授業活動 －初級授業の流れ	小テスト、解説 講義	教科書の該当箇所を読む（19～25頁）
8	授業活動 －中級授業の流れ	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書の該当箇所を読む（26～38頁）小テスト準備
9	教材・教具 教材教具の種類と特徴	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書の該当箇所を読む（39～45頁）
10	教材・教具 シラバス・カリキュラムとの関係	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書の該当箇所を読む（44～46頁）小テスト準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	会話・スピーチ教育 正確さと流暢さについて	小テスト、解説 講義	教科書の該当箇所を読む (47～53頁)
12	会話・スピーチ教育 スピーチ・スキル	講義、ディスカッション、 質疑応答	教科書の該当箇所を読む (54～60頁) 小テスト準備
13	読解教育 初級の教え方	小テスト、解説 講義	教科書の該当箇所を読む (77～85頁)
14	読解教育 中上級の教え方	講義、ディスカッション、 質疑応答	教科書の該当箇所を読む (86～90頁)
15	語彙教育 目的と指導方法	講義、ディスカッション、 質疑応答	教科書の該当箇所を読む (119～123頁)
16	作文教育 レベル別目的	講義	教科書の該当箇所を読む (99～106頁)
17	初級教科書「げんき」分析 シラバスと構成	講義、ディスカッション、 質疑応答	「げんき」を読み分析
18	初級教科書「げんき」分析 文法説明と練習問題	講義、ディスカッション、 質疑応答	「げんき」を読み分析
19	レッスンプランの立て方	講義、ディスカッション、 質疑応答	教科書の該当箇所を読む
20	レッスンプラン作成	講義、ディスカッション、 質疑応答	レッスンプラン作成
21	模擬授業	模擬授業分析	模擬授業準備
22	模擬授業	模擬授業分析	模擬授業準備
23	模擬授業	模擬授業分析	模擬授業準備
24	模擬授業	模擬授業分析	模擬授業準備
25	振り返り	講義、ディスカッション、 質疑応答	模擬授業準備
26	模擬授業	模擬授業分析	模擬授業準備
27	模擬授業	模擬授業分析	模擬授業準備
28	模擬授業	模擬授業分析	模擬授業準備
29	振り返り	模擬授業分析	模擬授業準備
30	まとめ	講義、ディスカッション、 質疑応答	期末レポート準備

テキスト	三牧陽子 1996『日本語教授法を理解する本 実践編』（バベルプレス）
参考書	『げんき』（ジャパントイムズ）
履修条件、 前提科目	本科目履修者は原則カレッジフレンドに参加するため、月1時限と、2時限のサービスマーケティング枠に他の科目を履修することできない。
その他 特記事項	この科目を履修する学生は、原則として次年度春学期に引き続き日本語教育演習を履修する。児童英語教育を履修予定の学生や進路に関係する科目と重なり春学期の日本語教育演習履修が難しい場合は継続しなくてもよい。

科目名	GMN101: ドイツ語 I				担当教員	工藤 花野	
開講期	春/秋	開講時限	月木3限	研究室	4号館2階講師控室		
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	基礎ドイツ語、ヨーロッパ共通参照枠 A1						
授業の概要	初心者も取り組み易いように、ヨーロッパの言語教育ガイドラインによる初級レベル(A1)に準拠したテキストを用いて、時間をかけて進めます。ドイツ語の基礎的文法、ドイツ語圏で実際に使える表現や語句を中心に、問題を繰り返し解いて学んでいきます。CD等でドイツ語の発音や意味を確認した後(発音)、基礎的な文法を理解し(文法)、テキスト中の練習問題を一緒に解き(読む)、テーマに沿った聞き取り問題(聞く)、対話形式のペアワーク(話す)をこなし、バランスのとれた基礎力を鍛えます。各回の復習として、授業で理解した知識を元に、各自の課題に取り組みます(書く)。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標】 「書く・読む・聞く・話す」の総合的な練習により、ドイツ語の発音と基礎的文法力を身につける。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ語の読み方と発音がきちんとできる。 ・文の構造と動詞の活用の仕組み・名詞の格の働きを理解する。 ・簡単な会話や文章を理解し、作文できる。 ・日常で用いる基本的な語彙を身につける。 						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法】 授業時の積極参加(10%)、毎回の課題提出(10%)、中間・期末試験(80%)</p> <p>【評価基準】 授業参加 [個人やペアでの発表により、表現・発音・聞き取る力を確認する] 課題提出 [授業毎の短い自習課題の提出により、授業内容や文法事項を確認する] 中間・期末試験 [筆記・口頭試験により、文法・読み・書き・発音力を確認する]</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	導入、授業概要の説明 ドイツ語のアルファベットと発音・挨拶	演習(発音)	S. 6-8までの整理
2	[Lektion1] 人と知り合う 自己紹介・動詞の現在人称変化(1人称)	演習(発音、ペアワーク、作文ほか)	S. 9, 10の整理
3	[Lektion1] 人と知り合う 自己紹介の会話・現在人称変化(2人称)	演習(発音、ペアワーク、作文ほか)	S. 11, 12の整理
4	[Lektion1] 人と知り合う 自己紹介文と会話文・インタビュー	演習(発音、ペアワーク、作文ほか)	S. 13, 14の整理
5	[Lektion1] 人と知り合う メール文・現在人称変化(3人称)	演習(発音、ペアワーク、作文ほか)	S. 15, 16の整理
6	[Lektion1] 人と知り合う 人称代名詞・人称変化・語順・挨拶	演習(発音、ペアワーク、作文ほか)	S. 17, 18の整理
7	[Lektion2] 自由時間 趣味・不規則動詞現在人称変化(1人称)	演習(発音、ペアワーク、作文ほか)	S. 19, 20の整理
8	[Lektion2] 自由時間 趣味についてのインタビュー(2人称)	演習(発音、ペアワーク、作文ほか)	S. 21, 22の整理
9	[Lektion2] 自由時間 インタビュー(3人称)・住所の書き方	演習(発音、ペアワーク、作文ほか)	S. 23, 24の整理
10	[Lektion2] 自由時間 数字の読み方・書き方と職業	演習(発音、ペアワーク、作文ほか)	S. 25, 26の整理

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	[Lektion2] 自由時間 読解（ドイツ人の趣味）・文法まとめ	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 27, 28 の整理
12	[Lektion3] 一日の行動 時刻の表現	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 29, 30 の整理
13	[Lektion3] 一日の行動 時刻の表現・分離動詞	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 31, 32 の整理
14	[Lektion3] 一日の行動 一日の行動と分離動詞	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 32, 33 の整理
15	Lektion1-3 の総括・質疑応答（20分） 筆記試験（70分）	質疑応答 試験	試験対策（事前準備） S. 8-33 の整理
16	Lektion1-3 の総括・試験解答 [Lektion3] 一日の行動・曜日と大学の予定	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 33, 34 の整理
17	[Lektion3] 一日の行動 話法の助動詞・一日の計画	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 35, 36 の整理
18	[Lektion3] 一日の行動 読解（小学生の一日）・文法まとめ	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 37, 38 の整理
19	[Lektion4] 食事 名詞の性・定冠詞・不定冠詞	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 39, 40 の整理
20	[Lektion4] 食事 不定冠詞・否定冠詞・無冠詞・会話	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 41, 42 の整理
21	[Lektion4] 食事 読解（ドイツ人の食事）・メニュー表	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 43, 44 の整理
22	[Lektion4] 食事 食事の注文・冠詞の使い方・人称代名詞	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 45, 46 の整理
23	[Lektion4] 食事 レストランの会話の実践・文法まとめ	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 47, 48 の整理
24	[Lektion5] 住まい 住まいの種類・部屋の名称・作文	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 49, 50 の整理
25	[Lektion5] 住まい 住居の説明・所有冠詞・形容詞	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 52, 53 の整理
26	[Lektion5] 住まい 家具の名称・作文・台所用品の説明	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 51, 54 の整理
27	[Lektion5] 住まい 名詞の複数形・場所の前置詞の使い方	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 55, 56 の整理
28	[Lektion5] 住まい 移動の前置詞の使い方	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 57, 58 の整理
29	Lektion3-5 の総括・質疑応答（20分） 筆記試験（70分）	質疑応答 試験	試験対策（事前準備） S. 33-58 の整理
30	Lektion4-6 の総括・試験解答 [Lektion5] 読解（ドイツの大学生の住居）	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 59, 60 の整理

テキスト	藤原三枝子他、CD 付き『スタート！—コミュニケーション活動で学ぶドイツ語—』（三修社）
参考書	斉藤佑史著／荒木詳二『若草のドイツ語文法』（三修社）
その他 特記事項	できるだけ余裕をもって進行に努めるが、欠席が続くと習得度が下がる上、ペアワークやグループワークが多いので毎回の出席が望ましい。特別な事情や事前の断りなく 2 回以上連続で欠席するものは出席の意図がないものとみなします。

科目名	GMN102: ドイツ語Ⅱ				担当教員	工藤 花野	
開講期	春	開講時限	月木4限	研究室	4号館2階講師控室		
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	基礎ドイツ語、独検4級レベル						
授業の概要	ドイツ語Ⅰに引き続き、文法を中心としたテキストに従って授業を進めます。各課の最初に挙げられたテーマ別の新出単語の発音や意味を確認した後（発音）、基礎的な文法を理解し（文法）、テキスト中の練習問題を一緒に解き（読む）、テーマに沿った聞き取り問題（聞く）、インタビュー形式のペアワーク（話す）をこなし、バランスのとれた基礎力を鍛えながら、より複雑な表現方法を習得します。各回の復習として、授業で理解した知識を元に、各自の課題をこなします（書く）。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標】</p> <p>ドイツ語Ⅰで習得した語彙力・文法力を再確認しながら、さらに学習を進めてドイツ語の基礎文法を完成させる。独検4級レベルの文法力を身につける。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ語の読み方と発音がきちんとできる。 ・文の構造と動詞の活用の仕組み・名詞の格の働きを理解する。 ・複雑な文章を理解し、作文することができる。 ・新出語彙を身につける。 						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法】</p> <p>授業時の積極参加（10%）、課題提出（10%）、中間・期末試験（80%）</p> <p>【評価基準】</p> <p>授業参加 [個人やペアでの発表により、表現・発音・聞き取る力を確認する] 課題提出 [授業毎の短い自習課題の提出により、授業内容や文法事項を確認する] 中間・期末試験 [筆記・口頭試験により、文法・読み・書き・発音を確認する]</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	導入、授業概要の説明 Lektion1-6の総括・数字	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 46までの整理
2	[Lektion7] 天気 esの用法（自然/心理/生理現象・非人称）	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 47, 49, 50の整理
3	[Lektion7] 天気 zu不定詞	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 48, 51の整理
4	[Lektion7] 天気 副文	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 49, 51の整理
5	[Lektion7] 天気 作文と読解・ドイツの四季	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 52, 53の整理
6	[Lektion7] 天気 聞き取りとインタビュー・天気と予定	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 53 54の整理
7	[Lektion8] ファッション 形容詞の用法と弱変化・混合変化	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 55-57の整理
8	[Lektion8] ファッション 形容詞の用法と名詞化・比較級	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 58, 59の整理
9	[Lektion8] ファッション 再帰代名詞と再帰動詞	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 59.60の整理
10	[Lektion8] ファッション 作文と読解・私の大学生活1	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 61, 62の整理
11	[Lektion8] ファッション 聞き取りとインタビュー・余暇と序数	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 63, 64の整理

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
12	[Lektion9] ドイツの大学生 動詞の三基本形	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 65-67 の整理
13	[Lektion9] ドイツの大学生 過去形・現在完了形	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 68, 69 の整理
14	[Lektion9] ドイツの大学生 作文と読解・日記・履歴書・大学生活 2	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 70-72 の整理
15	[Lektion9] ドイツの大学生 聞き取りとインタビュー・休暇中	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 73, 74 の整理
16	Lektion7-9 の総括・質疑応答（20分） 筆記試験（70分）	質疑応答 試験	試験対策（事前準備） S. 47-74 の整理
17	Lektion7-9 の総括・試験解答 [Lektion10] ベルリン観光・定関係代名詞	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 75, 76, 78 の整理
18	[Lektion10] ベルリン観光 不定関係代名詞	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 77, 78 の整理
19	[Lektion10] ベルリン観光 読解・聞き取りとインタビュー・観光	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 79, 80 の整理
20	[Lektion11] ドイツのスイツ 受動態	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 81, 82 の整理
21	[Lektion11] ドイツのスイツ 受動態	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 83, 84 の整理
22	[Lektion11] ドイツのスイツ 読解・福島原発事故	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 85 の整理
23	[Lektion11] ドイツのスイツ 聞き取り・インタビュー・旅行の準備	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 86 の整理
24	[Lektion12] 再会を楽しみに 接続法・人称変化・時制	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 87-89 の整理
25	[Lektion12] 再会を楽しみに 非現実話法・間接話法・要求話法	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 89-91 の整理
26	[Lektion12] 再会を楽しみに 作文	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 92, 93 の整理
27	[Lektion12] 再会を楽しみに 読解・手紙	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 94 の整理
28	[Lektion12] 再会を楽しみに 聞き取りとインタビュー・旅行	演習（発音、ペアワーク、作文ほか）	S. 95 の整理
29	Lektion10-12 の総括・質疑応答（20分） 筆記試験（70分）	質疑応答 試験	試験対策（事前準備）
30	Lektion10-12 の総括・試験解答	質疑応答	S. 75-95 の確認・復習

テキスト	橋本政義他、CD付き『使ってみよう！ドイツ語 文法+4技能のトレーニング Tipps zum Deutschlernen』（三修社）
参考書	斉藤佑史著／荒木詳二『若草のドイツ語文法』（三修社）
履修条件、 前提科目	ドイツ語 I を履修していること。 ドイツ語 I のテキスト・ノート・課題・配布した資料等を用意しておくこと。
その他 特記事項	できるだけ余裕をもって進行に努めるが、欠席が続くと習得度が下がる上、ペアワークやグループワークが多いので毎回の出席が望ましい。特別な事情や事前の断りなく 2 回以上連続で欠席するものは出席の意図がないものとみなします。

科目名	FRN101: フランス語 I				担当教員	谷口 清彦	
開講期	春/秋	開講時限	月木3限	研究室	4号館2階講師控室		
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	フランス語入門						
授業の概要	フランス語入門者を対象とする。プリントと教科書を併用し、フランス語運用において基礎的な文法事項と会話表現を学ぶ。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標】 フランス語の基礎を習得できる。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な表現を口頭・筆記の両面で運用できる。 ・フランス語らしく発音し、基礎的な文法を理解する。 						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法】 第一回授業内試験 50%、第二回授業内試験 50%</p> <p>【評価基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一回授業内試験：筆記試験 ・第二回授業内試験：筆記試験 <p>指定した範囲が理解できているかどうかを評価基準とする。 欠席回数が多い学生は授業内試験の資格を失う。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	プリント1：発音とつづり——音節、半母音、アクセント記号	講義・練習問題・小テスト	配布プリント復習（小テスト準備）
2	プリント1：発音とつづり——注意すべきつづりと発音	講義・練習問題・小テスト	配布プリント復習（小テスト準備）
3	プリント2：発音とつづり——アンシェヌマン、リエゾン、エリズィオン	講義・練習問題・小テスト	配布プリント復習（小テスト準備）
4	プリント3：主語人称代名詞、人称代名詞強勢形、指示代名詞	講義・練習問題・小テスト	配布プリント復習（小テスト準備）
5	プリント4：動詞 être、疑問文	講義・練習問題・小テスト	配布プリント復習（小テスト準備）
6	プリント5：副詞のはたらき、否定文	講義・練習問題・小テスト	配布プリント復習（小テスト準備）
7	プリント6：動詞 aller と venir、疑問副詞、前置詞 à と de	講義・練習問題・小テスト	配布プリント復習（小テスト準備）
8	プリント7：形容詞のはたらき	講義・練習問題・小テスト	配布プリント復習（小テスト準備）
9	プリント7：形容詞の性数一致	講義・練習問題・小テスト	配布プリント復習（小テスト準備）
10	プリント8：指示形容詞と所有形容詞	講義・練習問題・小テスト	配布プリント復習（小テスト準備）

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	プリント 9: 好き嫌いの表現——動詞 <i>aimer</i> 、定冠詞	講義・練習問題・小テスト	配布プリント復習 (小テスト準備)
12	プリント 9: 好き嫌いの表現——前置詞と定冠詞の縮約	講義・練習問題・小テスト	配布プリント復習 (小テスト準備)
13	プリント 10: 不定冠詞と部分冠詞のはたらき	講義・練習問題・小テスト	配布プリント復習 (小テスト準備)
14	プリント 10: 不定冠詞と部分冠詞の注意点、動詞 <i>avoir</i>	講義・練習問題・小テスト	配布プリント復習・第一回授業内試験準備
15	前半のまとめ、第一回授業内試験	講義・練習問題・テスト	前半の復習
16	試験の振り返り、フランス映画鑑賞	DVD 視聴	試験結果を踏まえた復習
17	会話練習 (教科書 <i>unité1</i>)	講義・練習問題・小テスト	教科書 pp.4-9.復習 (小テスト準備)
18	会話練習 (教科書 <i>unité2</i>)	講義・練習問題・小テスト	教科書 pp.10-15.復習 (小テスト準備)
19	会話練習 (教科書 <i>unité3</i>)	講義・練習問題・小テスト	教科書 pp.16-21.復習 (小テスト準備)
20	会話練習 (教科書 <i>unité4</i>)	講義・練習問題・小テスト	教科書 pp.22-27.復習 (小テスト準備)
21	会話練習 (教科書 <i>unité5</i>)	講義・練習問題・小テスト	教科書 pp.28-33.復習 (小テスト準備)
22	会話練習 (教科書 <i>unité6</i>)	講義・練習問題・小テスト	教科書 pp.34-39.復習 (小テスト準備)
23	会話のまとめ	講義・練習問題・小テスト	教科書 pp. 4-39.復習 (小テスト準備)
24	プリント 11: 動詞を学ぶ—— <i>er</i> 動詞	講義・練習問題・小テスト	配布プリント復習 (小テスト準備)
25	プリント 12: 動詞を学ぶ——活用を注意すべき <i>er</i> 動詞	講義・練習問題・小テスト	配布プリント復習 (小テスト準備)
26	プリント 13: 動詞を学ぶ—— <i>oir</i> 動詞	講義・練習問題・小テスト	配布プリント復習 (小テスト準備)
27	プリント 14: 動詞を学ぶ—— <i>ir</i> 動詞	講義・練習問題・小テスト	配布プリント復習 (小テスト準備)
28	プリント 15: 動詞を学ぶ—— <i>re</i> 動詞	講義・練習問題・小テスト	配布プリント復習・第二回授業内試験準備
29	後半のまとめ、第二回授業内試験	講義・練習問題・テスト	後半の復習
30	試験の振り返り	講義・練習問題	試験結果をふまえた総復習

テキスト	藤田裕二『新定版・えすかるご 1』(朝日出版社)
参考書	清岡智比古『フラ語入門、わかりやすいにもホドがある!』(白水社)

科目名	FRN102: フランス語Ⅱ				担当教員	谷口 清彦	
開講期	春	開講時限	月木4限	研究室	4号館2階講師控室		
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	フランス語初級～中級						
授業の概要	フランス語Ⅰの履修者およびフランス語既習者を対象とする。プリントと教科書を併用し、フランス語運用において基礎的な文法事項と会話表現をフランス語Ⅰに引きつづき学ぶ。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標】 初級～中級レベルのフランス語を理解し、より幅広い表現が可能になる。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初級から一歩進んだ語彙・文法・表現を習得する。 ・場面に応じた柔軟なフランス語表現ができる。 						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法】 第一回授業内試験 50%、第二回授業内試験 50%</p> <p>【評価基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一回授業内試験：筆記試験 ・第二回授業内試験：筆記試験 <p>指定した範囲が理解できているかどうかを評価基準とする。 欠席回数が多い学生は授業内試験の資格を失う。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	フランス語Ⅰの復習——基礎文法事項	講義・練習問題	配付プリント復習（小テスト準備）
2	フランス語Ⅰの復習——動詞の活用	講義・練習問題・小テスト	配付プリント復習（小テスト準備）
3	プリント1：代名詞	講義・練習問題・小テスト	配付プリント復習（小テスト準備）
4	プリント2：代名動詞	講義・練習問題・小テスト	配付プリント復習（小テスト準備）
5	プリント3：中性代名詞と関係代名詞	講義・練習問題・小テスト	配付プリント復習（小テスト準備）
6	プリント4：疑問詞	講義・練習問題・小テスト	配付プリント復習（小テスト準備）
7	プリント5：否定と命令	講義・練習問題・小テスト	配付プリント復習（小テスト準備）
8	プリント6：半過去	講義・練習問題・小テスト	配付プリント復習（小テスト準備）
9	プリント7：分詞	講義・練習問題・小テスト	配付プリント復習（小テスト準備）
10	プリント8：複合過去——助動詞 être	講義・練習問題・小テスト	配付プリント復習（小テスト準備）

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	プリント 9: 複合過去——助動詞 avoir	講義・練習問題・小テスト	配付プリント復習(小テスト準備)
12	会話練習(教科書 unité7)	講義・練習問題・小テスト	教科書 pp.40-45.復習(小テスト準備)
13	会話練習(教科書 unité8)	講義・練習問題・小テスト	教科書 pp.46-51.復習(小テスト準備)
14	会話練習(教科書 unité9)	講義・練習問題・小テスト	教科書 pp.52-57.復習・第一回授業内試験準備
15	前半まとめ、第一回授業内試験	講義・練習問題・テスト	前半の復習
16	試験の振り返り、フランス映画鑑賞	DVD 視聴	試験結果を踏まえた前半の復習
17	会話練習(教科書 unité10) ——非人称構文	講義・練習問題・小テスト	教科書 pp.58-63.復習(小テスト準備)
18	会話練習(教科書 unité10) ——命令形と感嘆文	講義・練習問題・小テスト	教科書 pp.58-63.復習(小テスト準備)
19	会話練習(教科書 unité11) ——強調構文	講義・練習問題・小テスト	教科書 pp.64-69.復習(小テスト準備)
20	会話練習(教科書 unité11) ——比較級と最上級	講義・練習問題・小テスト	教科書 pp.64-69.復習(小テスト準備)
21	会話練習(教科書 unité12)	講義・練習問題・小テスト	教科書 pp.70-75.復習(小テスト準備)
22	会話のまとめ	講義・練習問題・小テスト	教科書 pp.40-75.復習(小テスト準備)
23	プリント 10: 大過去	講義・練習問題・小テスト	配付プリント復習(小テスト準備)
24	プリント 11: 未来と前未来	講義・練習問題・小テスト	配付プリント復習(小テスト準備)
25	プリント 12: 条件法	講義・練習問題・小テスト	配付プリント復習(小テスト準備)
26	プリント 13: 注意すべき条件法	講義・練習問題・小テスト	配付プリント復習(小テスト準備)
27	プリント 14: 接続法	講義・練習問題・小テスト	配付プリント復習(小テスト準備)
28	プリント 15: 使役と話法	講義・練習問題・小テスト	配付プリント復習・第二回授業内試験準備
29	後半のまとめと復習、第二回授業内試験	講義・練習問題・テスト	後半の復習
30	試験の振り返り	講義・練習問題	試験結果をふまえた総復習

テキスト	藤田裕二『新定版・えすかるご 1』(朝日出版社)
参考書	西村牧夫・曾我佑典・田島宏『コレクション フランス語 3 文法』(白水社)

科目名	SPN101: スペイン語 I				担当教員	山本 浩史	
開講期	春/秋	開講時限	月木3限	研究室	4号館2階講師控室		
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	第二外国語、スペイン語、スペイン、西欧、ラテンアメリカ						
授業の概要	スペイン語は全世界で4億人以上の話者を持つ言語です。ヨーロッパのスペイン及びラテンアメリカの多くの国々でスペイン語が話されています。それぞれの国で多少の違いがありますが、基本は同じです。言語を通じて、スペイン語圏の文化習慣も学んでいきます。授業は前回の復習や概要の説明から始まり、課題と小テストなども行います						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標】 簡単な会話や挨拶、自己紹介などスペイン語で行えることを目指します。その為に、正しい発音とイントネーションを学ぶための発音練習を行います。またスペイン語の基礎文法を理解するために重要な、スペイン語動詞の活用を重点的に学習します。表現を深く理解するためにスペイン、ラテンアメリカの文化や習俗を学びます。</p> <p>【到達目標】 この学習でスペイン語技能検定6級の試験が受けられる程度の学力を目指す。6級の試験内容は動詞の直説法現在までと、名詞、冠詞、形容詞、前置詞、接続詞、疑問詞の用法です。語彙量は500語程度を想定しています。</p>						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法】小テスト(15%)、達成度テスト1(30%)、達成度テスト2(30%)、提出物(15%)、授業参加(10%)</p> <p>【評価基準】 小テスト：前回の授業の復習を行っているか。 中間テスト：中間までの内容を把握しているか。 達成度テスト：前期の内容全体を把握しているか。 提出物：その時に課題になっている動詞の変化や文型を正しく書くことができるか。 授業参加：質問に真面目に答えているか。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	スペイン語圏とは スペイン語の挨拶 アルファベットと発音	講義 発音練習	挨拶とアルファベットの復習教科書
2	アルファベットと発音 アクセントとスペルの関係 数字や季節の表現	講義 発音練習 復習 前回の復習	教科書 Lección 0
3	名詞の性と数	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 1
4	定冠詞と不定冠詞	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 1
5	Ser 動詞と形容詞	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 2
6	Ser 動詞と形容詞 疑問文と否定文	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 2
7	Estar 動詞 活用形	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 2
8	Estar 動詞と hay の関係	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 2
9	基礎表現まとめ ser と estar 名詞・形容詞の性数一致 指示詞	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 0~2
10	規則活用 ar 動詞	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 3

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	規則活用 ar 動詞 疑問詞 前置詞の a	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 3
12	規則活用 er 動詞 ir 動詞	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 4
13	規則活用 er 動詞 ir 動詞 語根母音変化動詞	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 5
14	規則活用まとめと復習	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 1~5
15	今までのまとめ 達成度テスト 1	講義 前回の復習	教科書 Lección 0~5
16	不規則動詞 活用形	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 6
17	不規則動詞 応用	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 6
18	目的格人称代名詞	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 7
19	目的格人称代名詞と gustar 型動詞 語順	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 7
20	Gustar 型動詞 単語の組み合わせとその意味不規則動詞	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 7
21	直説法過去 点過去 活用形	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 8
22	直説法過去 点過去 応用	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 8
23	直説法過去 線過去 活用形	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 9
24	直説法過去 線過去 応用	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 9
25	点と線の使い分け	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 8~9
26	再帰動詞 活用形	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 10
27	再帰動詞 応用	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 10
28	スペイン語の動詞の考え方	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 3~10
29	達成度テスト 2	講義 前回の復習	教科書 Lección 1~10
30	前期のまとめ	講義 前回の復習	教科書 Lección 1~10

テキスト	久住真由 Marcela Lamadrid 『Andale』（同学社）
参考書	小林一弘 エレナ・ガジェゴ 『スペイン語文法と実践』（朝日出版社）
その他 特記事項	継続的に復習をすることが望ましい。 また、授業内で意見を求められたら、正解・不正解は問わないので真面目に考えて回答すること。考えていない答えは答えとみなさないで注意すること。

科目名	SPN102: スペイン語Ⅱ				担当教員	山本 浩史	
開講期	春	開講時限	月木4限	研究室	4号館2階講師控室		
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	第二外国語、スペイン語、スペインとラテンアメリカ						
授業の概要	スペイン語Ⅰの復習をしながら理解度を高めていきます。現在形のみならず過去形、未来形など、日常会話にかかせない文法事項もまとめて学習していきます。簡単な日記程度ならスペイン語で読み書きできることを目指します。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標】 日常的な出来事を、過去未来などの時制の変化を適切に使い表現できることを目指す。そのために、特殊な変化をする過去、未来時制の活用形を重点的に学びます。合わせて慣用表現などを学び、決まり文句にとどまらない表現を目指します。</p> <p>【到達目標】 この学習でスペイン語技能検定5級の試験が受けられる程度の学力が身につきます。5級の試験内容は、初級文法（全時制を含み、接続法を除く）までの平易な文章の読み書きができることです。語彙量は1,200語程度を想定しています。</p>						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法】 小テスト(15%)、中間テスト(30%)、達成度テスト(30%)、提出物(15%)、授業参加(10%)</p> <p>【評価基準】 小テスト：前回授業の復習などを行っているか。 達成度テスト1：中間までの内容を把握しているか。 達成度テスト2：後期の内容全体を把握しているか。 提出物：その時に課題となっている時制の変化を正しく用いることができるか。 授業参加：質問を真面目に考えて答えられるか。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	スペイン語Ⅰの復習 基礎表現 名詞と形容詞の関係	講義 発音練習	教科書 Lección 1~4
2	スペイン語Ⅰの復習 動詞の規則・不規則活用	講義 発音練習 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 5~9
3	スペイン語Ⅰの復習 目的格代名詞や gustar 型動詞	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 7
4	スペイン語Ⅰの復習 再帰動詞や gustar 型動詞などのスペイン語独特の考え方。	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 10
5	過去分詞と現在完了	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 11
6	過去分詞と現在完了 現在分詞と進行形 動詞のさまざまな形とその扱い	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 11
7	点過去 規則形	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 12
8	点過去 時制の考え方 比較表現	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 12
9	点過去 不規則形 活用形	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 13
10	点過去 不規則形 用法	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 13
11	点過去と現在完了まとめ	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 11~13

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
12	再帰動詞復習 時制と文法の関係	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 14
13	線過去の活用形	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 14
14	線過去の用法	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 14
15	ここまでのまとめ 達成度テスト1	講義 前回の復習 テスト	教科書 Lección 11~14
16	線過去と点過去の違い	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 11~14
17	線過去と点過去の組み合わせ	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 11~14
18	未来形	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 15
19	未来形とその考え方	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 15
20	過去未来の活用形	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 15
21	過去未来とその考え方	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 15
22	過去完了の活用形	講義 前回の復習 小テスト	プリントを配布
23	過去完了とその考え方	講義 前回の復習 小テスト	プリントを配布
24	スペイン語の時制まとめと復習	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 3~15
25	スペイン語の時制まとめと復習	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 3~15
26	命令形	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 16
27	命令形～そして接続法	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 16
28	今までの復習	講義 前回の復習 小テスト	教科書 Lección 3~16
29	達成度テスト2	講義 テスト	教科書 Lección 3~16
30	スペイン語 II のまとめ	講義 前回の復習	教科書 Lección 3~16

テキスト	マヌエラ・アルマラス 高野雅司 ピエダー・ガルシア 高松英樹 パロマ・トレナド 二宮哲 エンリケ・アルマラス 柳沼孝一郎『Plaza Mayor I』(朝日出版社)
参考書	小林一弘 エレナ・ガジェゴ『スペイン語文法と実践』(朝日出版社)
履修条件、 前提科目	スペイン語 I を履修済みか、それに相当するもの
その他 特記事項	継続的に復習をすることが望ましい。 また、授業内で意見を求められたら、正解・不正解は問わないので真面目に考えて回答すること。考えていない答えは答えとみなさないで注意すること。

科目名	CHN101: 中国語 I				担当教員	廣重 聖佐子	
開講期	春/秋	開講時限	月木3限	研究室	4号館2階講師控室		
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	第二外国語、中国語						
授業の概要	今年度は教科書の前半部分を学習する。各課はそれぞれ単語と文法説明、本文解説、会話練習、練習問題の順序で授業を進め、その後各課終了時に本文の音読テストを行う。授業は、音読と会話の練習に多くの時間を費やし、繰り返し練習をし学習の定着をはかる。また同時に中華圏の文化や習慣も学んでいく。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標】</p> <p>中国語学習に必要な不可欠なピンイン、入門初級程度の基本的な文法事項を音読や練習問題を繰り返すことによって習得する。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文の音読ができる。(ピンインが読める) ・基本的な単語や文法事項が理解でき、和訳や練習問題ができる。 ・練習問題等で簡単な和文中訳ができる。 						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当日の学習確認として授業中の提出物 (20%) ・各課の音読テスト (10%) ・練習問題の提出 (10%) ・文法事項の確認として2回の授業内筆記試験 (60%) <p>【評価基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2回の授業内筆記試験により、本文の基本的な文法が理解でき和文中訳ができること。 ・各課の音読テストによりピンインが習得でき、筆記試験で本文の例文をピンインから中国語にできること。 						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	第1課 声調、あいさつ	発音練習	教科書 P6～P9 あいさつの練習
2	第2課 短母音と複母音 あいさつ	発音練習	教科書 P10～P15 あいさつの練習
3	第3課 鼻音 ミニ会話	発音練習 ヒヤリング	教科書 P16～P19 ミニ会話の練習
4	第4課 子音 ミニ会話	発音練習 ヒヤリング	教科書 P20～P23 ミニ会話の練習
5	第5課 つづりの特殊規則、変調、数字	発音練習 ヒヤリング	教科書 P24～P27 数字の練習
6	第6課 “是”構文、否定の“不”、 人称代詞の解説	単語と文法説明	教科書 P28～P32 復習
7	第6課 “是”構文、否定の“不”、 人称代詞の練習	音読練習と会話練習	教科書 P28～P32 復習
8	第6課 “是”構文、否定の“不”、 人称代詞の確認	練習問題 音読テスト	教科書 P33～P35 音読テストの練習
9	第7課 動詞述語文、所有の動詞“有” 疑問詞疑問文、指示代詞の解説	単語と文法説明	教科書 P36～P40 復習
10	第7課 動詞述語文、所有の動詞“有” 疑問詞疑問文、指示代詞の練習	音読練習と会話練習	教科書 P36～P40 復習
11	第7課 動詞述語文、所有の動詞“有” 疑問詞疑問文、指示代詞の確認	練習問題 音読テスト	教科書 P41～P43 音読テストの練習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
12	第8課 形容詞述語文、主述述語文、数詞、程度副詞、逆説の接続詞の解説	単語と文法説明	教科書 P44～P48 復習
13	第8課 形容詞述語文、主述述語文、数詞、程度副詞、逆説の接続詞の練習	音読練習と会話練習	教科書 P44～P48 復習
14	第8課 形容詞述語文、主述述語文、数詞、程度副詞、逆説の接続詞の確認	練習問題 音読テスト	教科書 P49～P51 音読テストの練習
15	前半の復習 (文法事項と音読テスト)	復習	第1課から8課までの復習
16	前半の復習 (質問等)	復習	第1課から8課までの復習
17	授業内筆記試験①と解説	授業内試験と解説	第1課から8課までの復習
18	第9課 存在の動詞“有”と“在”、否定表現“没”、方向詞、量詞の解説	単語と文法説明	教科書 P52～P56 復習
19	第9課 存在の動詞“有”と“在”、否定表現“没”、方向詞、量詞の練習	音読練習と会話練習	教科書 P52～P56 復習
20	第9課 存在の動詞“有”と“在”、否定表現“没”、方向詞、量詞の確認	練習問題 音読テスト	教科書 P57～P59 音読テストの練習
21	第10課 名詞述語文、時刻・年月日・季節の表現の解説	単語と文法説明	教科書 P60～P64 復習
22	第10課 名詞述語文、時刻・年月日・季節の表現の練習	音読練習と会話練習	教科書 P60～P64 復習
23	第10課 名詞述語文、時刻・年月日・季節の表現の確認	練習問題 音読テスト	教科書 P65～P67 音読テストの練習
24	第11課 連動文、疑問詞疑問文(2) お金の言い方、禁止の表現の解説	単語と文法説明	教科書 P68～P72 復習
25	第11課 連動文、疑問詞疑問文(2) お金の言い方、禁止の表現の練習	音読練習と会話練習	教科書 P68～P72 復習
26	第11課 連動文、疑問詞疑問文(2) お金の言い方、禁止の表現の確認	練習問題 音読テスト	教科書 P73～P75 音読テストの練習
27	後半の復習 (文法事項と音読テスト)	復習	第9課から11課までの復習
28	後半の復習 (質問等)	復習	第9課から11課までの復習
29	授業内筆記試験②と解説	授業内試験と解説	第9課から11課までの復習
30	総復習	総復習と解説	第9課から11課までの復習

テキスト	孫樹林・岡村宏章等著『中国語入門・初級テキスト 佳縁漢語』(朝日出版)
参考書	郭春貴『中国語検定対策3級・4級 文法・単語編』(白帝社)
履修条件、 前提科目	積極的に授業に参加する意思のあるもの。
その他 特記事項	私用による遅刻厳禁。

科目名	CHN102: 中国語Ⅱ				担当教員	廣重 聖佐子	
開講期	春	開講時限	月木4限	研究室	4号館2階講師控室		
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	第二外国語、中国語						
授業の概要	前年度使用した教科書の後半部分を学習する。授業では単語と文法説明後、本文より文法事項を自分でチェックし、和訳を試みることを学習の中心とする。 その後音読練習、例文を用いた会話練習、練習問題、和文中訳で学習の定着をはかる。						
達成目標 および 到達目標	【達成目標】 <ul style="list-style-type: none"> 中国語の初級課程を完了するとともに、学習した構文を自分で分析し、簡単な長文の和訳ができる。 音読練習の成果として、中国語で自己紹介ができるようにする。 【到達目標】 <ul style="list-style-type: none"> 本文の音読ができる。 文法事項が理解でき、和訳と練習問題ができる。 例文等を用いて中国語で表現できる。 						
評価方法 および 評価基準	【評価方法】 <ul style="list-style-type: none"> 当日の学習確認として授業中の提出物と和文中訳のプリント（20%） 各課の音読テスト（10%） 音読学習の総合的な確認として、自己紹介（10%） 文法事項の確認として2回の授業内筆記テスト（60%） 【評価基準】 <ul style="list-style-type: none"> 2回の授業内筆記試験により、本文の基本的な文法が理解でき、和訳や中訳ができること。また音読練習の成果として、すでに学んだ文法や例文等を用いて中国語で自己紹介を作り、発表できること。 						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	第14課 時間長さの言い方 動作行為の完了の助詞“了”の解説	単語と文法解説 本文の解釈	教科書 P74～P76 単語と文法事項の確認
2	第14課 時間長さの言い方 動作行為の完了の助詞“了”の練習	音読練習と会話練習 ドリル	教科書 P77～P79 和文中訳の宿題プリント
3	第15課 動作の対象を表す前置詞、 助動詞“可以”と“能”の解説	単語と文法解説 本文の解釈	教科書 P80～P82 単語と文法事項の確認
4	第15課 動作の対象を表す前置詞、 助動詞“可以”と“能”の練習	音読練習と会話練習 ドリル	教科書 P83～P85 和文中訳の宿題プリント
5	第16課 動作行為の進行を表現 助動詞“会”の解説	単語と文法解説 本文の解釈	教科書 P86～P88 単語と文法事項の確認
6	第16課 動作行為の進行を表現 助動詞“会”の練習	音読練習と会話練習 ドリル	教科書 P89～P91 和文中訳の宿題プリント
7	第17課 前置詞“在”の用法 二重目的語をとる動詞の解説	単語と文法解説 本文の解釈	教科書 P94～P96 単語と文法事項の確認
8	第17課 前置詞“在”の用法 二重目的語をとる動詞の練習	音読練習と会話練習 ドリル	教科書 P97～P99 和文中訳の宿題プリント
9	第18課 経験を表す助詞 選択疑問文の解説	単語と文法解説 本文の解釈	教科書 P100～P102 単語と文法事項の確認
10	第18課 経験を表す助詞 選択疑問文の練習	音読練習と会話練習 ドリル	教科書 P103～P105 和文中訳の宿題プリント
11	第19課 助動詞“的”の用法 一～就の構文の解説	単語と文法解説 本文の解釈	教科書 P106～P108 単語と文法事項の確認

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
12	第19課 助動詞“的”の用法 一～就の構文の練習	音読練習と会話練習 ドリル	教科書 P109～P111 和文中訳の宿題プリント
13	第20課 結果補語、様態補語の解説	単語と文法解説 本文の解釈	教科書 P112～P114 単語と文法事項の確認
14	第20課 結果補語、様態補語の練習	音読練習と会話練習 ドリル	教科書 P115～P117 和文中訳の宿題プリント
15	前半の復習（文法事項と音読）	復習	第14課から第20課までの復習
16	授業内筆記試験①と解説	筆記試験と解説	第14課から第20課までの復習
17	第21課 “是～的”の構文 比較表現—前置詞“比”の解説	単語と文法解説 本文の解釈	教科書 P118～P120 単語と文法事項の確認
18	第21課 “是～的”の構文 比較表現—前置詞“比”の練習	音読練習と会話練習 ドリル	教科書 P121～P123 和文中訳の宿題プリント
19	第22課 方向補語①単純方向補語の解説	単語と文法解説 本文の解釈	教科書 P124～P126 単語と文法事項の確認
20	第22課 方向補語①単純方向補語の練習	音読練習と会話練習 ドリル	教科書 P127～P129 和文中訳の宿題プリント
21	第23課 “把”構文、方向補語② 複合方向補語の説明	単語と文法解説 本文の解釈	教科書 P130～P132 単語と文法事項の確認
22	第23課 “把”構文、方向補語② 複合方向補語の練習	音読練習と会話練習 ドリル	教科書 P133～P135 和文中訳の宿題プリント
23	第24課 可能補語、程度補語の解説	単語と文法解説 本文の解釈	教科書 P136～P138 単語と文法事項の確認
24	第24課 可能補語、程度補語の練習	音読練習と会話練習 ドリル	教科書 P139～P141 和文中訳の宿題プリント
25	第25課 主述述語文、受け身表現の解説	単語と文法解説 本文の解釈	教科書 P142～P144 単語と文法事項の確認
26	第25課 主述述語文、受け身表現の練習	音読練習と会話練習 ドリル	教科書 P145～P147 和文中訳の宿題プリント
27	第26課 “就要～了”の構文 使役構文の解説	単語と文法解説 本文の解釈	教科書 P148～P150 単語と文法事項の確認
28	第26課 “就要～了”の構文 使役構文の練習	音読練習と会話練習 ドリル	教科書 P151～P153 和文中訳の宿題プリント
29	授業内筆記試験②と解説 自己紹介の発表	筆記試験と解説	第21課から第26課までの復習
30	総復習	総復習と解説	第21課から第26課までの復習

テキスト	陳淑梅・劉光赤著『しゃべっていいとも中国語』（朝日出版社）
参考書	郭春貴著『中国語検定対策3級・4級 文法編・単語編・ヒアリング編』（白帝社） 蘇紅著『しっかり学ぶ中国語文法事項と練習問題』（ベレ出版）
履修条件、 前提科目	中国語1を履修していること
その他 特記事項	就職活動をする学生は事前に申し出ること。 私用による遅刻厳禁。

科目名	JPN250: 日本語表現法				担当教員	河北 祐子	
開講期	春/秋	開講時限	火金3限	研究室	4号館2階講師控室		
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	事実と意見、構成、語彙と表現						
授業の概要	テキストに従って、論文を書くうえでの様々な技術を、ペアワーク・グループワークを通して学ぶ。自分の発表だけではなく、クラスメートの発表にも関心を払うことで多様な表現に触れ、客観的に日本語表現を見る力を養う。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標】 自分の日本語による表現を客観的に振り返り、どうしたらより分かりやすく自分の考えを伝えることができるかモニタリングでき、特に大学生らしい表現が使えるようになること。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事実と意見、あるいは他人と自分の考え、意見を区別して表現する。 ・助詞、語彙が的確に使えるようになる。 ・アカデミックな文章表現を学び、使えるようになる。 ・小論文を書くための論文構成を学び、実際に小論文を書く。 						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法】 授業参加度 25% 提出物と期限 20% 中間発表プレゼンテーション 25% 小論文 30%</p> <p>【評価基準】 授業参加度：ペア・グループワーク時に自分の意見を述べていること。提出物と期限：練習課題、小論文までの報告文、構成メモ等を与えられた期限までに提出しているかどうか。中間発表プレゼンテーション：口頭における発表力、質問への答え方、論文構成が、事実に基づいたデータとそれへの意見という書き分けをし、与えられた基準に従っているかどうか。小論文：論文構成、表現（正しい文法、論文として適切な語彙）等、学んだ内容をきちんと踏まえて書かれているかどうか。2,000字程度</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	クラスオリエンテーション	講義 グループワーク	シラバスとテキストの説明
2	〔基礎編〕 よく使われる文の形、語と表現	講義 グループワーク	pp.1-8 課題提出
3	引用、句読点、表記規則	講義 グループワーク	pp.9-21 課題提出
4	〔論文編〕 論文とは、論文の構成、論文の作り方	実際の文章を見る。 講義	pp.10-31 課題提出
5	本論のまとめ方	講義 グループワーク	pp.32-42 課題提出
6	書いてみよう①、3種類の文 書いてみよう②	講義 グループワーク	pp.43-47 課題提出
7	論文のモデル 〔論文編Ⅱ序論〕序論の役割	実際の論文を見る。 講義	pp.48-54 課題提出
8	背景説明：事物の説明、先行研究の紹介 概要紹介、部分的紹介	講義 グループワーク	pp.55-63 課題提出
9	問題提起	講義 グループワーク	pp.64-68 課題提出
10	方向付け 書いてみよう。	講義 グループワーク	pp.65-74 課題提出

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	全体の予告、〔論文編Ⅲ本論〕 本論の役割、論拠提示（データ提示）	講義 グループワーク	pp.66-85 課題提出
12	データ提示（事柄、数量、文章）	講義 グループワーク	pp.86-92 課題提出
13	意見提示、データ解釈、考察	講義 グループワーク	pp.93-99 課題提出
14	結論提示、行動提示、部分の予告 部分のまとめ	講義 グループワーク	pp.100-110 課題提出
15	論の展開、〔論文編Ⅳ結び〕結びの役割	講義 グループワーク	pp.111-120 課題提出
16	全体のまとめ、評価、展望提示	講義 グループワーク	pp.121-132 課題提出
17	資料編Ⅰ 場面別表現	講義 グループワーク	pp.133-144 課題提出
18	資料に関する表現	講義 グループワーク	pp.145-152 課題提出
19	中間発表準備 構成メモ：問題提起、結論	講義 個人作業	課題提出
20	発表準備 構成メモ：論拠	個人作業 個別面談指導	課題提出
21	発表準備 構成メモ：論拠	個人作業 個別面談指導	課題提出
22	発表準備 構成メモ完成	個人作業 個別面談指導	課題提出
23	中間発表①	学生発表、相互評価	発表準備
24	中間発表②	学生発表、相互評価	発表準備、小論文作成
25	中間発表③	学生発表、相互評価	発表準備、小論文作成
26	中間発表④	学生発表、相互評価	発表準備、小論文作成
27	中間発表⑤	学生発表、相互評価	発表準備、小論文作成
28	中間発表⑥	学生発表、相互評価	発表準備、小論文作成
29	まとめ作業	グループワーク	小論文作成
30	授業ふり返り	講義、グループワーク	論文提出へ向けて

テキスト	浜田麻里、平尾得子、由井紀久子『大学生と留学生のための論文ワークショップ』（くろしお出版）
参考書	稲垣滋子『日本語の書き方ハンドブック』（くろしお出版） 二通信子ほか『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』（東京大学出版会）
その他 特記事項	日本語で分かりやすい文章を書くための基礎授業なので、2年生の春学期までに履修することが望ましい。

科目名	SEF200: キャリア・プランニング				担当教員	岩崎 明子 (輪講)	
開講期	秋	開講時限	月木5限	研究室	4213	オフィスワー	火4限、木2限
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	女性のライフコース、キャリアプラン、ワークライフバランス						
授業の概要	本学ソフィア会 (同窓会) の支援と卒業生のボランティアで開催される講座である。社会の様々な分野で「Women for others, with others」として活躍している卒業生の仕事と人生を話していただくことを通して、進路選択の時期にある学生たちが「社会で働くことの意義」をより現実的な視点から考え、さらに長期的な展望をもって、自分の人生設計をできるように助けることが目的である。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標】 卒業生を通して、様々な業界、職種の実態に触れ、女性のライフコースの多様な可能性やチャレンジを知り、学生が自分のライフ/キャリアデザインを、より具体的に思い描けるようになることが目標である。</p> <p>【到達目標】 卒業生の講義では、学生各自が、自分の人生にも訪れる転機や試練となる体験の雛型を見出し、進路選択を準備することを目指す。また関係する業界・職種の研究と各講師へのインタビューを学生自身が企画・実施することによって、社会人基礎力とコミュニケーション力を育成する。さらに、ワークでは、自己分析、ディスカッション、グループワークを通し、女性の労働について視野を広げ、自分の強みを生かしたキャリア・プランの作成に自ら取り組めるよう必要な知識を身につける。(より具体的に編入や就職を準備するためには別途「キャリア講座」の受講が必要)</p>						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法】 毎回提出する講義へのコメントシート (2%×20回=40%)、ワークシート (3%×7回=21%)、業界・業種研究とグループによるインタビュー (9%) 中間レポート (10%)、期末レポートと発表 (20%)</p> <p>【評価基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コメントシート：単なる感想で終わらず、講義からどのような問題を触発されたのかが記述されている。 ・業界・業種研究とグループによるインタビュー：担当グループは、各自が事前に講義に関連する業界・業種・企業研究を行いレポートにまとめると同時に、グループで相談の上、講師に対する適切で興味深いインタビューを各メンバーが行える。 ・中間課題：視聴した内容の要点を的確にまとめるだけでなく、それまでに聴講した講義メモを参照し、他の資料も引用しながら、現代社会の働く女性の問題についての考察を分析的に論理的にのべている。 ・期末課題：①影響を受けた3つの講義を選びその理由を分析し、どのような「人生の価値観」に自分は共鳴するのかを理論的に記述している。②自分が興味を持つ業種・職種について少なくとも同種企業3社を比較しながら仕事の特徴(魅力・困難)をまとめる。さらにその仕事に就くために具体的にどのようなスキルや資格のための養成や準備が必要か、また、内面的にもどのような成長課題が自分にあるかをのべている。 						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	9/28 (1) 人生設計とキャリアデザイン～キャリアデザインとは何か	講義聴講、ワーク	自己分析チェックリスト
2	10/1 (2) キャリア理論の現在：生涯キャリア発達とキャリアアンカー	講義聴講、ワーク	キャリアアンカー質問票
3	10/5 IT企業で人材養成	講演、学生によるインタビュー	IT業界について調べる
4	10/8 英語教材開発	講演、学生によるインタビュー	教科書出版業界について調べる
5	10/12 ファイナンスの世界から歴史研究者へ	講演、学生によるインタビュー	金融業界 or 教育業界について調べる
6	10/15 (3) キャリアについて主体的に考える～幸福の基準と様々な働き方～	講義、ワーク、シェアリング	自分史から自己の特徴をつかむ/自分らしい働き方
7	10/19 国際交流の仕事	講演、学生によるインタビュー	公務員(独立行政法人国際交流基金)について調べる

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
8	10/22 スミソニアン博物館と研究	講演、学生によるインタビュー	教育・博物館業界について調べる
9	10/26 映像コンテンツのプロデュース	講演、学生によるインタビュー	映画業界について調べる
10	10/29 自動車メーカーで働くこと	講演、学生によるインタビュー	自動車業界について調べる
11	11/5 (4) 女性のキャリア形成とジェンダー夢と現実のギャップを考える	DVD、ワーク、シェアリング	他己分析（他者はあなたをどう見ているか）質問
12	11/9 障害を持つ人々と生きる	講演、学生によるインタビュー	福祉サービス業界について調べる
13	11/12 葬儀社の役割	講演、学生によるインタビュー	冠婚葬祭業界について調べる
14	11/16 シスターとして生きる	講演、学生によるインタビュー	宗教界について調べる
15	11/19 (5) キャリア意識の形成とデザイン～社会の求める力とは	講演、ワーク、シェアリング	社会人基礎力分析
16	11/23 銀行で人材養成の仕事	講演、学生によるインタビュー	銀行業界について調べる *中間レポートの提出期限
17	11/26 着物のプロモーション	講演、学生によるインタビュー	流通・小売り業界（呉服業界）について調べる
18	11/30 大学で働くということ	講演、学生によるインタビュー	大学職員について調べる 期末レポート・キャリアプラン作成準備開始
19	12/7 (6) ワーク・ライフ・バランス社会～女性が輝く社会をつくるには～	DVD、ディスカッション、発表（Gワーク）	社会人へインタビュー「仕事と生活」
20	12/10 法廷通訳から日本語教師へ	講演、学生によるインタビュー	通訳者、日本語教師について調べる
21	12/14 歌と英語講師とボランティア	講演、学生によるインタビュー	児童英語教育業界について調べる
22	12/17 放送、ファッション業界、レフレクソロジー	講演、学生によるインタビュー	マスコミ業界、アパレル業界について調べる
23	12/21 (7) 男女共同参画時代女性のチャレンジ支援	DVD、ディスカッション、発表（Gワーク）	将来の夢と目標
24	1/7 弁護士として	講演、学生によるインタビュー	専門技術サービス（弁護士）について調べる
25	1/14 女性経営者として	講演、学生によるインタビュー	業務用機械製造業について調べる
26	1/18 教育学研究と子育て	講演、学生によるインタビュー	教育業界（大学教員）について調べる
27	1/21 キャリア・プラン発表	発表と評価	キャリア・プラン持参
28	1/25 キャリア・プラン発表	発表と評価	キャリア・プラン持参
29	1/28 キャリア・プラン発表（予備日）	発表と評価	キャリア・プラン持参
30	2/2 まとめ	講演	期末レポート提出

テキスト	各講師からハンドアウト
参考書	矢澤 澄子他（2009）『女性とライフキャリア』（東京女子大女性学研究所）、『就活のやり方2016年度版』（就職情報研究会実務教育出版）、リクナビサイト、各社業界地図など
その他 特記事項	これは同窓会寄付講座であり、各講座はすべてボランティア講師の好意によって成り立っている。ゆえに都合で日程や内容の変更が余儀なくされる場合があることを了承してください。

科目名	ENG250: 留学準備（イギリス）				担当教員	岩崎 明子	
開講期	春	開講時限	月木5限	研究室	4213	オフィスワー	火4限、木2限
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	異文化理解、英語表現のトレーニング、海外生活に関する基本的知識、安全管理の知識						
授業の概要	この授業では、本学が認定する大学での海外短期語学講座プログラムに参加する学生が、同プログラムに関する予備知識や、渡航、現地生活、安全管理に関する留意事項を学び、各自が目的意識を持ち、規律正しい、安心できる留学生活を送ることができることを目指す。授業時間を適宜分け、授業の後半では実践的英語表現の習得を目的とするトレーニングを行う。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標】学生は留学先で想定されるさまざまなレベルの異文化体験への準備を行い、自分自身の学びと成長の軌跡を省察し、目的意識と自信をもって留学に向かうことができるようになる。学生は留学先（国）および自国について学び、自国の文化と留学先の異文化とを客観的に対比、理解できるようになる。さらに、留学に必要な英語表現のトレーニングにより、留学先での英語運用とより発展的な英語学習に備える。安全に留学が完遂できるよう、海外生活に関する基本的知識、心得、及び危機管理の方策を学ぶ。</p> <p>【到達目標】①留学先及び日本についての基本的知識を持ち、それについて自らの視点で英語で発信できる。②留学のさまざまな場面に必要な英語表現の知識を持ち、使う意欲を持つ。③海外生活での基本的マナーおよび危険回避について理解する。</p>						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法】</p> <p>1. グループ発表4回で計40%。2. 英語運用能力向上のためのアクティビティ（小テストを含む）計40%。3. essay（英文）20%。</p> <p>【評価基準】</p> <p>詳細は別途記載されているものを参照のこと。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	留学の意義 どうして留学をしたいのか	講義、ペアワーク、 グループワーク	留学の意義を考える（メモ） テキスト p.3 読む
2	プログラムの概要	講義、ペアワーク、 グループワーク	留学の意義メモをもとに自らの準備計画ドラフト作成
3	日程の説明（1） 渡航のための準備とは：会話力をつける	講義、質疑応答、 グループワーク	資料を読み、質問を考える テキスト pp.7~9
4	日程の説明（2） 渡航のための準備とは：自他文化を知る	講義、質疑応答、 グループワーク	資料を読み、質問を考える テキスト pp.10~12
5	手続ガイダンス	講義、質疑応答、 グループワーク	グループ発表①の準備 テキスト pp.13~14
6	留学先（国）の文化・伝統・歴史（1） 教育制度、衣食住	グループ発表① 質疑応答	質問事項、内容のまとめ テキスト pp.15~17
7	留学先の文化・伝統・歴史（2） 音楽、文学、伝統芸術	グループ発表① 質疑応答	質問事項、内容のまとめ テキスト pp.17~20
8	ホストファミリーとの会話（1） 挨拶、自己紹介	講義、質疑応答、ペア ワーク、ペア発表	質問事項、内容のまとめ テキスト pp.21~23
9	ホストファミリーとの会話（2） 生活のルールとトラブルの対処	講義、質疑応答、ペア ワーク、ペア発表	質問事項、内容のまとめ グループ発表②の準備
10	留学先（国）の政治・経済 最近の時事問題を知る	グループ発表② 質疑応答	質問事項、内容のまとめ テキスト pp.24~28

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	留学先の社会 最近の時事問題を知る	グループ発表② 質疑応答	質問事項、内容のまとめ テキスト pp.29~32
12	世界の英語、留学先の英語	講義、質疑応答、ペア ワーク	内容のまとめ、テスト準備 テキスト pp.32~35
13	中間まとめ (1) テキスト 1~4 章復習テスト	小テスト、振り返り、 グループワーク	小テストのまとめ、復習 グループ発表③の準備
14	日本の政治・経済	グループ発表③ 質疑応答	質問事項、内容のまとめ テキスト pp.36~38
15	日本の社会 日本の社会問題とは	グループ発表③ 質疑応答	質問事項、内容のまとめ テキスト pp.39~43
16	留学先（国）の気候風土と自然	講義、質疑応答、グル ープワーク	質問事項、内容のまとめ テキスト pp.44~47
17	留学先（国）の人々の生活	講義、質疑応答、グル ープワーク	質問事項、内容のまとめ グループ発表④の準備
18	日本の文化・伝統・歴史 (1) 英語で表現 する、生活と食文化	グループ発表④ 質疑応答	質問事項、内容のまとめ テキスト pp.48~52
19	日本の文化・伝統・歴史 (2) 英語で表現 する、ダンスと音楽	グループ発表④ 質疑応答	質問事項、内容のまとめ テキスト pp.53~56
20	日本の文化・伝統・歴史 (3) 英語で表現 する、伝統芸術と文学	グループ発表④ 質疑応答	質問事項、内容のまとめ テキスト pp.57~61
21	日本の文化・伝統・歴史 (4) 英語で表現 する、テクノロジーとポップカルチャー	グループ発表④ 質疑応答	質問事項、内容のまとめ テキスト pp.62~68
22	中間まとめ (2) テキスト 5~8 章復習テスト	小テスト、振り返り、 グループワーク	小テストのまとめ、復習 ガイダンス準備
23	ガイダンス 安全管理のワークショップ	講義、質疑応答、 グループワーク	質問事項、内容のまとめ テキスト pp.69~74
24	復習 生活編 (1) 買い物をする	講義、質疑応答、ペア ワーク、ペア発表	質問事項、内容のまとめ テキスト pp.75~80
25	復習 生活編 (2) 食事をする	講義、質疑応答、ペア ワーク、ペア発表	質問事項、内容のまとめ テキスト pp.81~87
26	復習 移動編 (1) 道を探る	講義、質疑応答、ペア ワーク、ペア発表	質問事項、内容のまとめ テキスト pp.90~107
27	復習 移動編 (2) 乗り物に乗る	講義、質疑応答、ペア ワーク、ペア発表	テキスト 9~11 章+α 復習 ガイダンス準備
28	出発前ガイダンス（確定スケジュール・マ ニュアル配布、出発時帰着時の確認）	講義、質疑応答、グル ープワーク	質問事項、内容のまとめ Essay 作成準備
29	復習 安全管理編	講義、質疑応答、グル ープワーク	質問事項、内容のまとめ Essay 作成準備
30	まとめ Essay “My Study Abroad” 作成	講義、essay writing グループワーク	Essay 校正、提出準備 出発準備、計画の確認

テキスト	観光英検センター編『English for Tourism [Basic]ベーシック観光英語』（三修社） English Essentials: An Academic Skills Handbook
参考書	『海外で困ったら：大使館・領事館のできること』（外務省） http://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pdf/taishi_2012.pdf 『在留邦人向け安全の手引き』（在ロンドン日本国総領事館） http://www.anzen.mofa.go.jp/manual/london.html
履修条件、 前提科目	今年度の夏期海外短期語学研修プログラムに参加することが条件である。

科目名	ENG251: 留学準備（オーストラリア）				担当教員	V. Thomas	
開講期	秋	開講時限	月木5限	研究室	4211	オフィスワー	月2・3限、火3・4限
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	異文化理解、英語表現のトレーニング、海外生活に関する基本的知識、安全管理の知識						
授業の概要	この授業では、本学が認定する大学での海外短期語学講座プログラムに参加する学生が、同プログラムに関する予備知識や、渡航、現地生活、安全管理に関する留意事項を学び、各自が目的意識を持ち、規律正しい、安心できる留学生活を送ることができることを目指す。授業時間を適宜分け、授業の後半では実践的英語表現の習得を目的とするトレーニングを行う。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標】 学生は留学先で想定されるさまざまなレベルの異文化体験への準備を行い、自分自身の学びと成長の軌跡を省察し、目的意識と自信をもって留学に向かうことができるようになる。学生は留学先（国）および自国について学び、自国の文化と留学先の異文化とを客観的に対比、理解できるようになる。さらに、留学に必要な英語表現のトレーニングにより、留学先での英語運用とより発展的な英語学習に備える。安全に留学が完遂できるよう、海外生活に関する基本的知識、心得、及び危機管理の方策を学ぶ。</p> <p>【到達目標】 ①留学先及び日本についての基本的知識を持ち、それについて自らの視点で英語で発信できる。②留学のさまざまな場面に必要な英語表現の知識を持ち、使う意欲を持つ。③海外生活での基本的マナーおよび危険回避について理解する。</p>						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法】 1. グループ発表4回で計40%。2. 英語運用能力向上のためのアクティビティ（小テストを含む）計40%。3. essay（英文）20%。</p> <p>【評価基準】 詳細は別途記載されているものを参照のこと。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	留学の意義 どうして留学をしたいのか	講義、ペアワーク、 グループワーク	留学の意義を考える（メモ） テキスト p.3 読む
2	プログラムの概要	講義、ペアワーク、 グループワーク	留学の意義メモをもとに自らの準備計画ドラフト作成
3	日程の説明（1） 渡航のための準備とは：会話力をつける	講義、質疑応答、 グループワーク	資料を読み、質問を考える テキスト pp.7~9
4	日程の説明（2） 渡航のための準備とは：自他文化を知る	講義、質疑応答、 グループワーク	資料を読み、質問を考える テキスト pp.10~12
5	手続ガイダンス	講義、質疑応答、 グループワーク	グループ発表①の準備 テキスト pp.13~14
6	留学先（国）の文化・伝統・歴史（1） 教育制度、衣食住	グループ発表① 質疑応答	質問事項、内容のまとめ テキスト pp.15~17
7	留学先の文化・伝統・歴史（2） 音楽、文学、伝統芸能	グループ発表① 質疑応答	質問事項、内容のまとめ テキスト pp.17~20
8	ホストファミリーとの会話（1） 挨拶、自己紹介	講義、質疑応答、ペア ワーク、ペア発表	質問事項、内容のまとめ テキスト pp.21~23
9	ホストファミリーとの会話（2） 生活のルールとトラブルの対処	講義、質疑応答、ペア ワーク、ペア発表	質問事項、内容のまとめ グループ発表②の準備
10	留学先（国）の政治・経済 最近の時事問題を知る	グループ発表② 質疑応答	質問事項、内容のまとめ テキスト pp.24~28

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	留学先の社会 最近の時事問題を知る	グループ発表② 質疑応答	質問事項、内容のまとめ テキスト pp.29~32
12	世界の英語、留学先の英語	講義、質疑応答、ペア ワーク	内容のまとめ、テスト準備 テキスト pp.32~35
13	中間まとめ (1) テキスト 1~4 章復習テスト	小テスト、振り返り、 グループワーク	小テストのまとめ、復習 グループ発表③の準備
14	日本の政治・経済	グループ発表③ 質疑応答	質問事項、内容のまとめ テキスト pp.36~38
15	日本の社会 日本の社会問題とは	グループ発表③ 質疑応答	質問事項、内容のまとめ テキスト pp.39~43
16	留学先（国）の気候風土と自然	講義、質疑応答、グル ープワーク	質問事項、内容のまとめ テキスト pp.44~47
17	留学先（国）の人々の生活	講義、質疑応答、グル ープワーク	質問事項、内容のまとめ グループ発表④の準備
18	日本の文化・伝統・歴史 (1) 英語で表現 する、生活と食文化	グループ発表④ 質疑応答	質問事項、内容のまとめ テキスト pp.48~52
19	日本の文化・伝統・歴史 (2) 英語で表現 する、ダンスと音楽	グループ発表④ 質疑応答	質問事項、内容のまとめ テキスト pp.53~56
20	日本の文化・伝統・歴史 (3) 英語で表現 する、伝統芸術と文学	グループ発表④ 質疑応答	質問事項、内容のまとめ テキスト pp.57~61
21	日本の文化・伝統・歴史 (4) 英語で表現 する、テクノロジーとポップカルチャー	グループ発表④ 質疑応答	質問事項、内容のまとめ テキスト pp.62~68
22	中間まとめ (2) テキスト 5~8 章復習テスト	小テスト、振り返り、 グループワーク	小テストのまとめ、復習 ガイダンス準備
23	ガイダンス 安全管理のワークショップ	講義、質疑応答、 グループワーク	質問事項、内容のまとめ テキスト pp.69~74
24	復習 生活編 (1) 買い物をする	講義、質疑応答、ペア ワーク、ペア発表	質問事項、内容のまとめ テキスト pp.75~80
25	復習 生活編 (2) 食事をする	講義、質疑応答、ペア ワーク、ペア発表	質問事項、内容のまとめ テキスト pp.81~87
26	復習 移動編 (1) 道を尋ねる	講義、質疑応答、ペア ワーク、ペア発表	質問事項、内容のまとめ テキスト pp.90~107
27	復習 移動編 (2) 乗り物に乗る	講義、質疑応答、ペア ワーク、ペア発表	テキスト 9~11 章+α 復習 ガイダンス準備
28	出発前ガイダンス（確定スケジュール・マ ニュアル配布、出発時帰着時の確認）	講義、質疑応答、グル ープワーク	質問事項、内容のまとめ Essay 作成準備
29	復習 安全管理編	講義、質疑応答、グル ープワーク	質問事項、内容のまとめ Essay 作成準備
30	まとめ Essay “My Study Abroad” 作成	講義、essay writing グループワーク	Essay 校正、提出準備 出発準備、計画の確認

テキスト	観光英検センター編『English for Tourism [Basic]ベーシック観光英語』（三修社） English Essentials: An Academic Skills Handbook
参考書	『海外で困ったら：大使館・領事館のできること』（外務省） http://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pdf/taishi_2012.pdf 『在留邦人向け安全の手引き』（在ロンドン日本国総領事館） http://www.anzen.mofa.go.jp/manual/london.html
履修条件、 前提科目	今年度の春期海外短期語学研修プログラムに参加することが条件である。